

2024（令和6）年度 春学期 授業評価アンケート 報告書

2024（令和6年）年12月

横浜商科大学
IR委員会

【目次】

I 授業評価アンケートの概要

1. 授業評価アンケートの目的
2. 調査の方法
3. 調査結果の活用

II 2024年度春学期調査の実施概要

1. 調査の方法
2. 調査結果

III 質問項目別グラフ（単純集計）

I 授業評価アンケートの概要

1. 授業評価アンケートの目的

授業評価アンケート（以下、調査）の目的は、本学における学士課程教育の現状と課題を把握し、教育改善の検討と実施を目指すことである。

2. 調査の方法

教育改善に資するデータを収集するため、以下の7項目について問う。

- （１）授業の適切性を検討する（設問１・４）
- （２）授業で修得できたディプロマ・ポリシーに関する能力を把握する（設問２）
- （３）予習・復習に当てた平均時間を把握する（設問３）
- （４）授業の満足度を質的に把握する（質問５～９）

上述の設問を学修成果可視化システム（Assessmentter）に設定し、全授業、全履修生を対象に調査を実施する。

3. 調査結果の活用

- （１）本学のディプロマ・ポリシーとして設定されたいる１１のスキル（設問２）の達成状況を点検・評価する。
- （２）調査の一連の設問から得られたデータをもとに、FD、SDを企画するための一案とする。
- （３）その他、授業改善、学士課程教育の質保証に関連することを活用する。

Ⅱ 2024年度春学期調査の実施概要

1. 調査の方法

(1) 実施期間 2024年7月1日（月）～2024年7月20日（土） ※集中講義は別途実施

(2) 対象科目 すべての開講科目

(3) 調査項目 I 授業評価アンケートの概要、2調査の方法 で述べた9の項目（設問）

Q1	授業の目的・達成目標、その意義の説明がありましたか	はい／いいえ
Q2	DP11のスキル	
1	幅広い教養とモラルを身につけている	はい／いいえ
2	商学の専門的な基礎知識・技能を身につけている	はい／いいえ
3	多様な価値を理解することができる	はい／いいえ
4	社会の課題を発見することができる	はい／いいえ
5	論理的に思考することができる	はい／いいえ
6	専門的知識を問題解決に活用できる	はい／いいえ
7	自分の考えを他者に伝えることができる	はい／いいえ
8	他者の考えを受け入れることができる	はい／いいえ
9	社会に貢献する意欲を持っている	はい／いいえ
10	主体的に行動する意欲を持っている	はい／いいえ
11	他者と協力する態度を持っている	はい／いいえ
Q3	この授業の予習・復習に当てた平均時間（1時間当たり）はどれですか	時間選択肢
Q4	教員からのフィードバックはありましたか	はい／いいえ

Q5	満足度	
1	授業内容	はい／いいえ（自由記述可）
2	難易度	はい／いいえ（自由記述可）
3	進行速度	はい／いいえ（自由記述可）
4	話し方・説明の仕方	はい／いいえ（自由記述可）
5	シラバスの記載	はい／いいえ（自由記述可）
6	板書や資料（スライド等）	はい／いいえ（自由記述可）
7	教員のサポート	はい／いいえ（自由記述可）
Q6	不満足度	
1	授業内容	はい／いいえ（自由記述可）
2	難易度	はい／いいえ（自由記述可）
3	進行速度	はい／いいえ（自由記述可）
4	話し方・説明の仕方	はい／いいえ（自由記述可）
5	シラバスの記載	はい／いいえ（自由記述可）
6	板書や資料（スライド等）	はい／いいえ（自由記述可）
7	教員のサポート	はい／いいえ（自由記述可）
Q7	その他、この授業で良かった点があれば、記入してください。	自由記述
Q8	その他、この授業で改善が望まれる点があれば、記入してください。	自由記述
Q9	総合的にみて、この授業は満足できるものでしたか。	自由記述

Ⅱ 2024年度春学期調査の実施概要

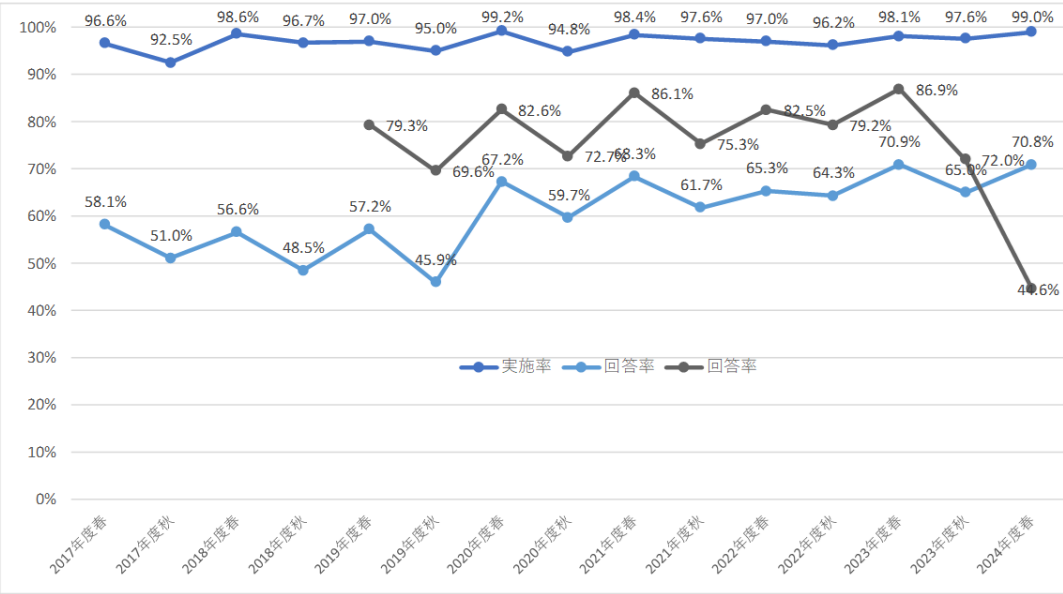
2. 調査結果

(1) 実施率と回答率

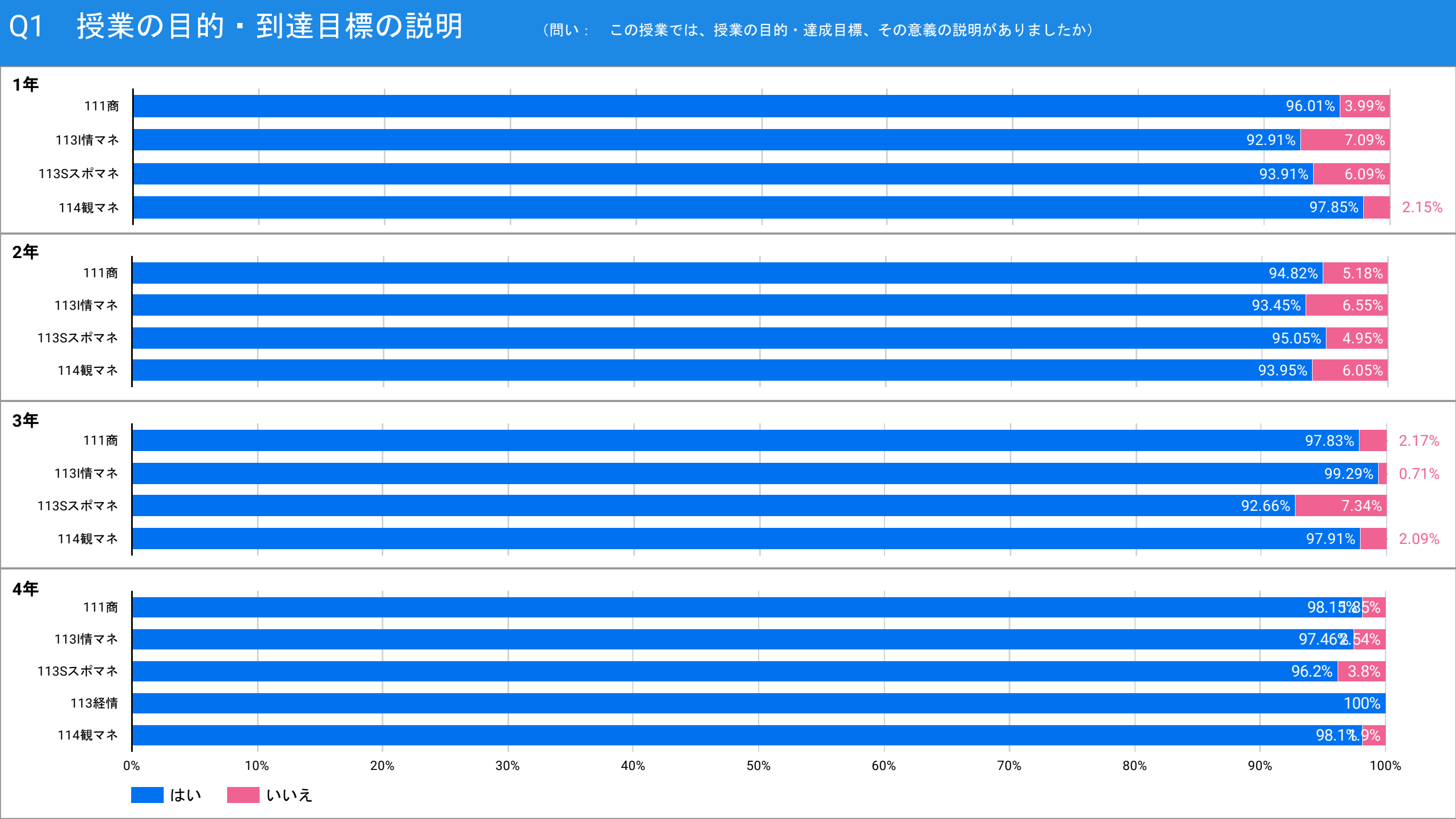
2024年度春学期の調査実施率は99.0%、
回答率は70.8%であった。

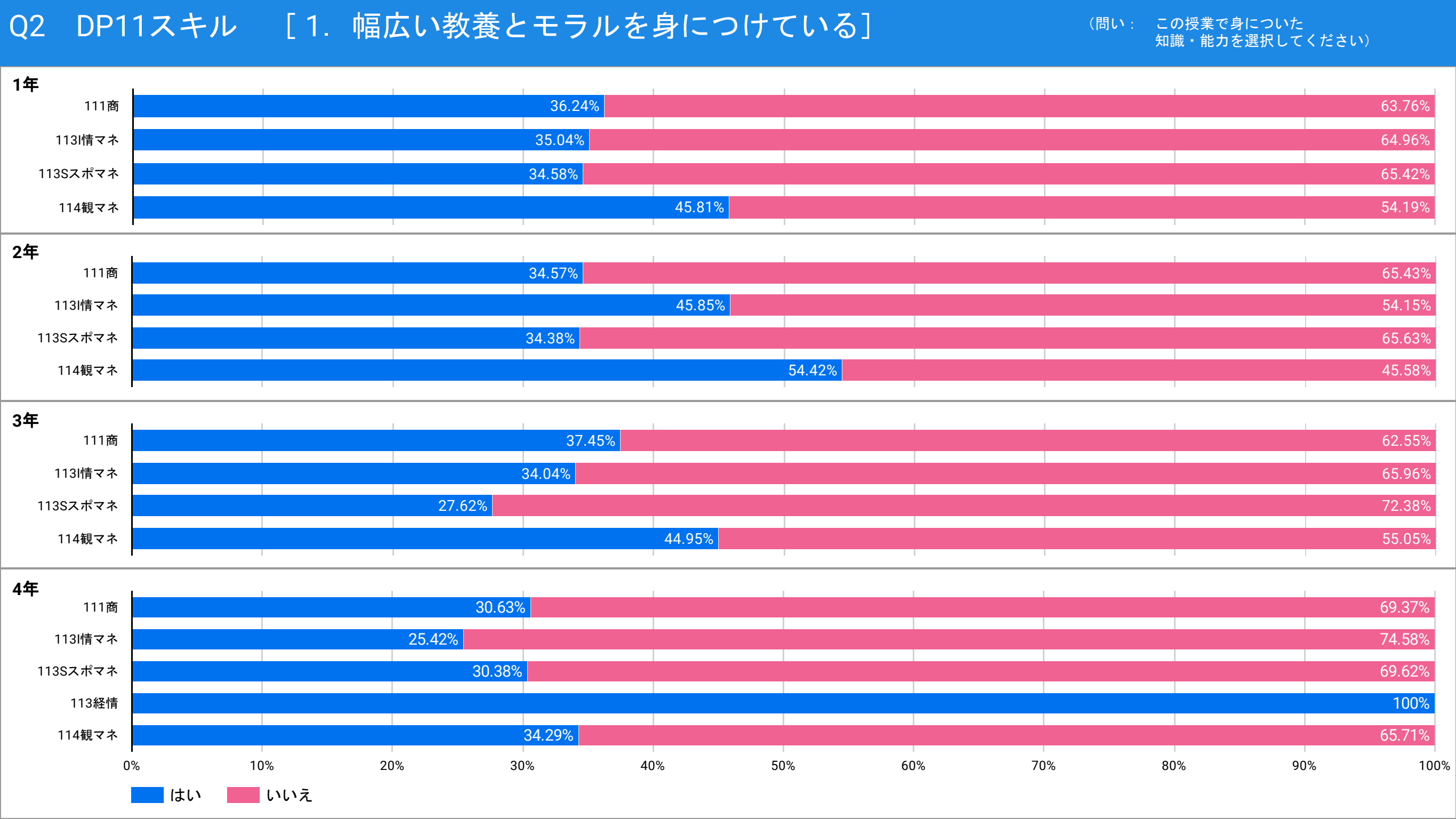
参考として、2017年度からの調査実施率（開講授業数、
実施授業数含む）と回答率（総履修者数、回答者数
含む）の推移を表1及び図1に示す。

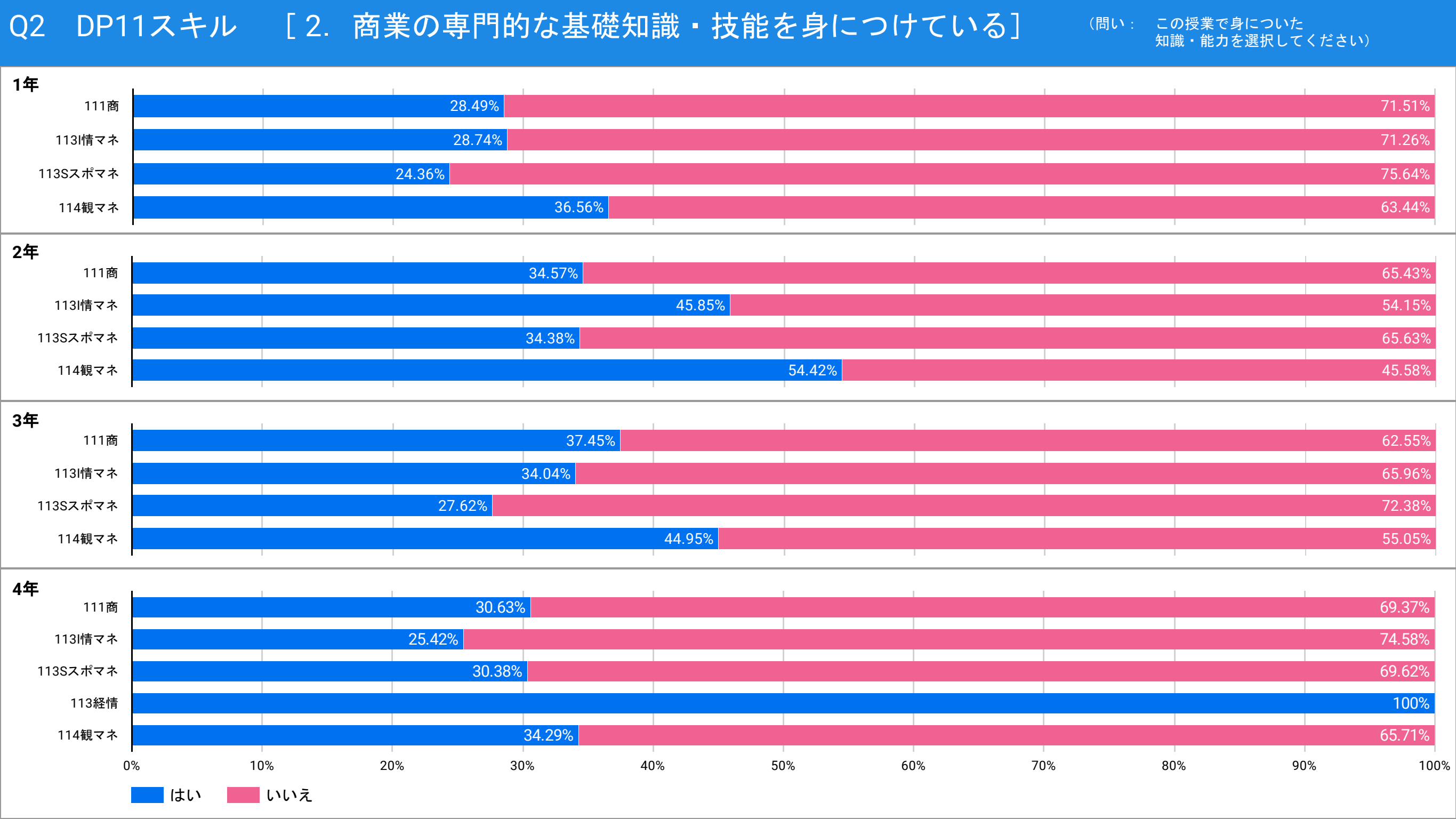
年学期	開講授業数	実施授業数	実施率	総履修者数	回答件数	回答率	対象学生	回答学生	回答率
2017年度春	385	372	96.6%	13,522	7,861	58.1%	—	—	
2017年度秋	389	360	92.5%	11,885	6,066	51.0%	—	—	
2018年度春	363	358	98.6%	13,569	7,679	56.6%	—	—	
2018年度秋	362	350	96.7%	12,174	5,901	48.5%	—	—	
2019年度春	366	355	97.0%	13,749	7,864	57.2%	1332	1056	79.3%
2019年度秋	358	340	95.0%	12,647	5,809	45.9%	1301	905	69.6%
2020年度春	362	359	99.2%	13,568	9,124	67.2%	1387	1145	82.6%
2020年度秋	388	368	94.8%	12,242	7,303	59.7%	1348	980	72.7%
2021年度春	370	364	98.4%	13,051	8,919	68.3%	1379	1187	86.1%
2021年度秋	379	370	97.6%	11,777	7,270	61.7%	1372	1033	75.3%
2022年度春	335	325	97.0%	11,816	7,716	65.3%	1355	1118	82.5%
2022年度秋	345	332	96.2%	10,804	6,947	64.3%	1301	1031	79.2%
2023年度春	315	309	98.1%	11,659	8,263	70.9%	1332	1157	86.9%
2023年度秋	328	320	97.6%	10,763	6,994	65.0%	1295	932	72.0%
2024年度春	305	302	99.0%	11,539	8,175	70.8%	1296	578	44.6%

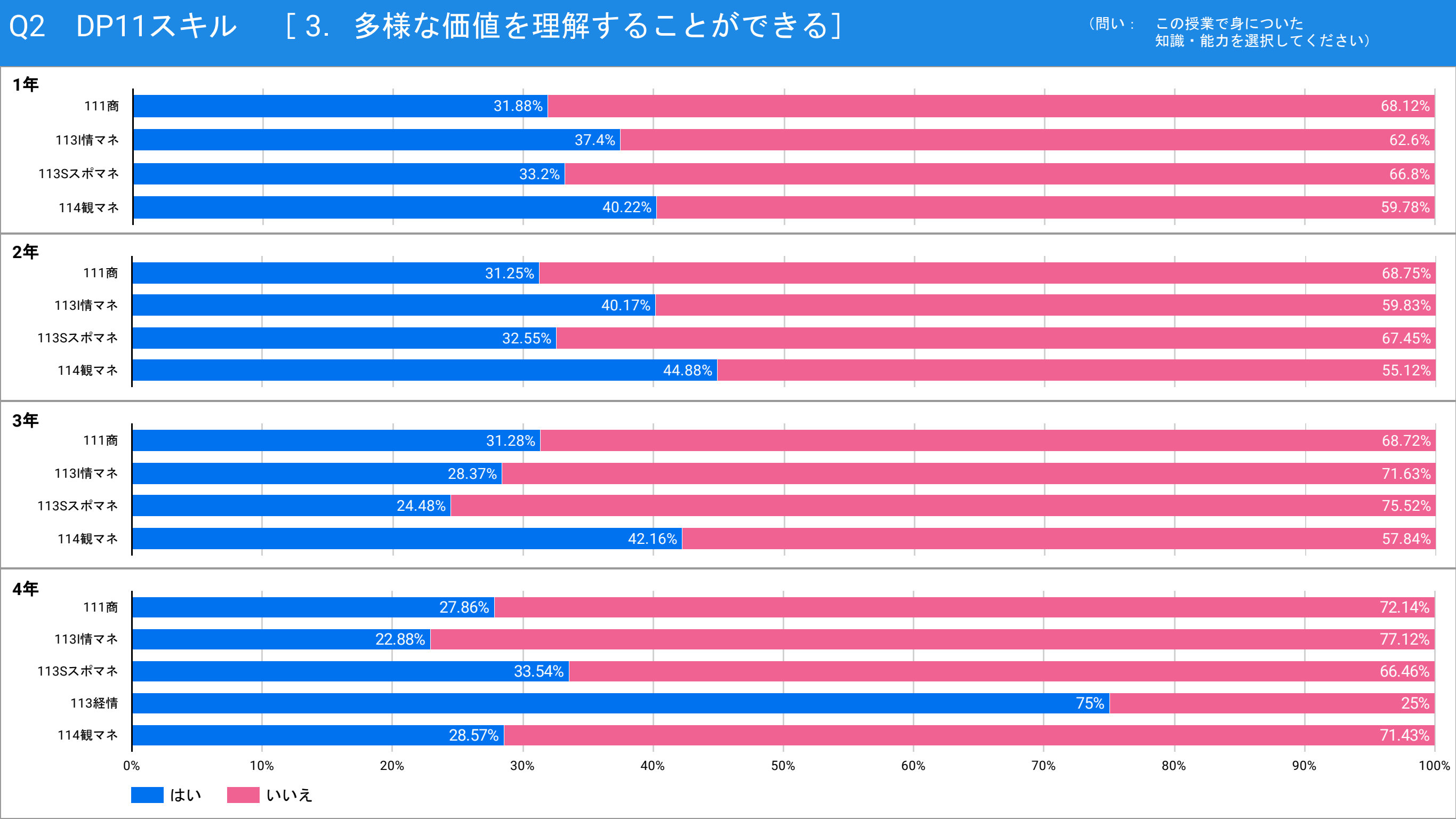


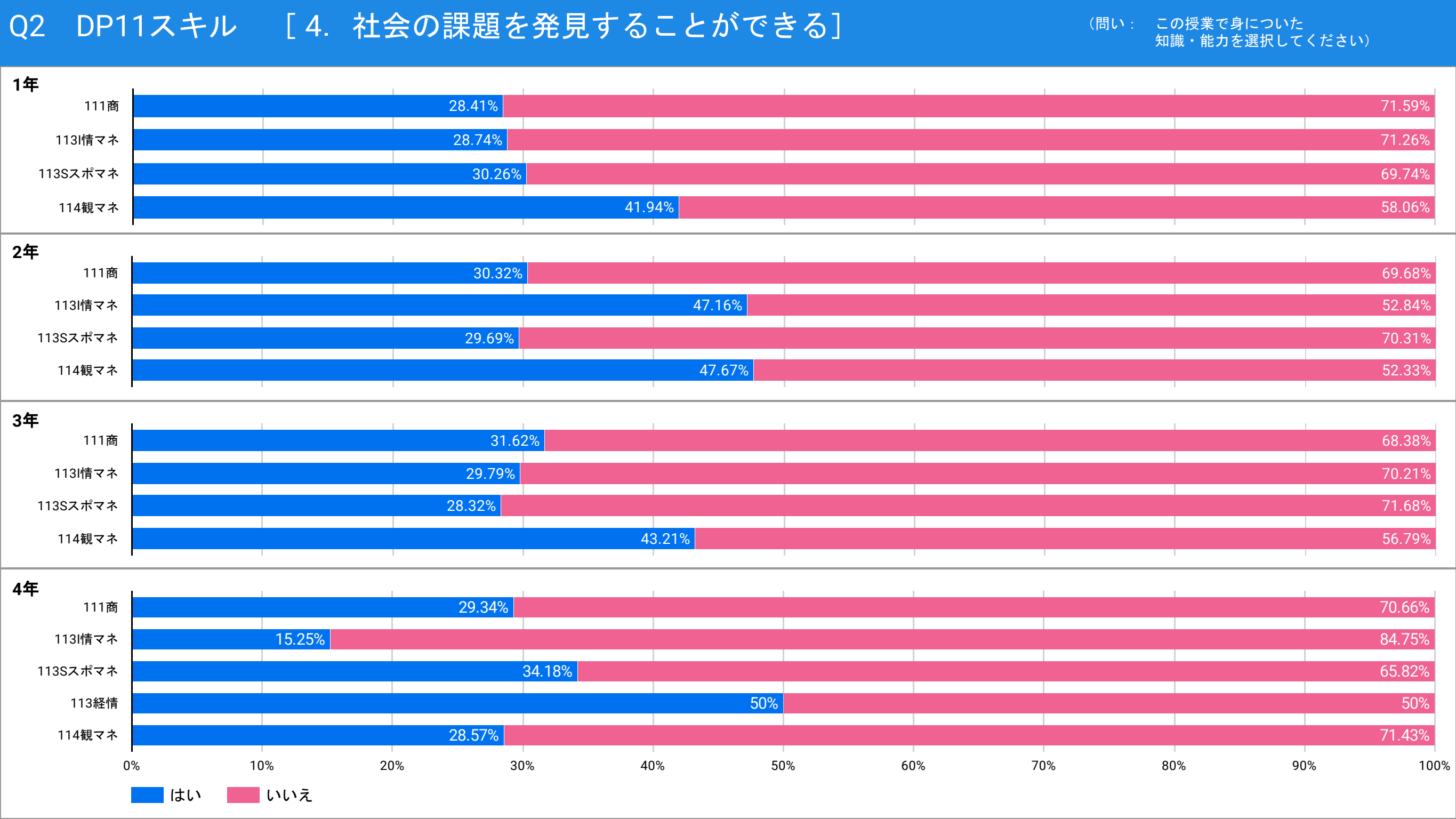
Ⅲ 質問項目別グラフ（単純集計）

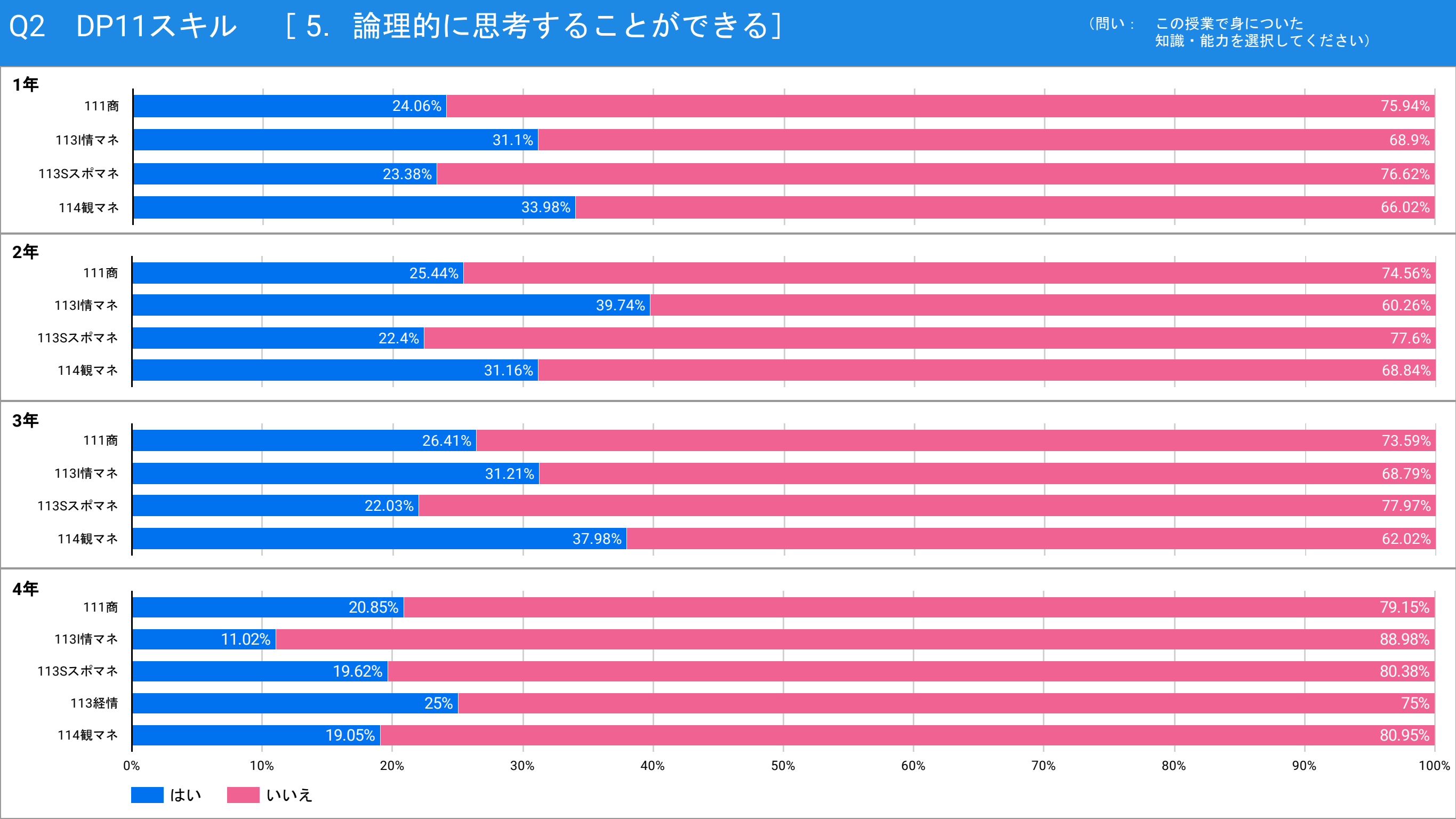


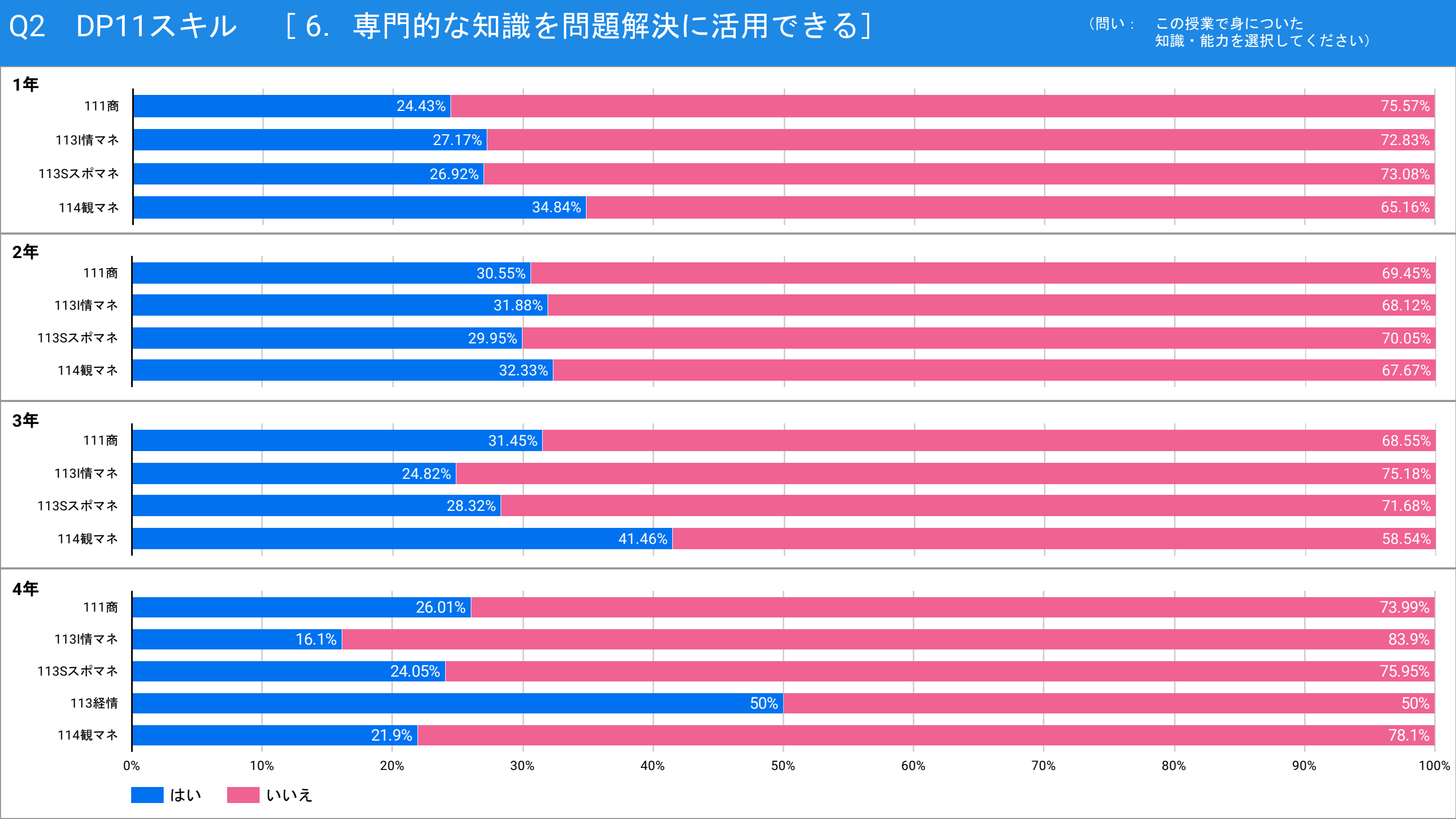


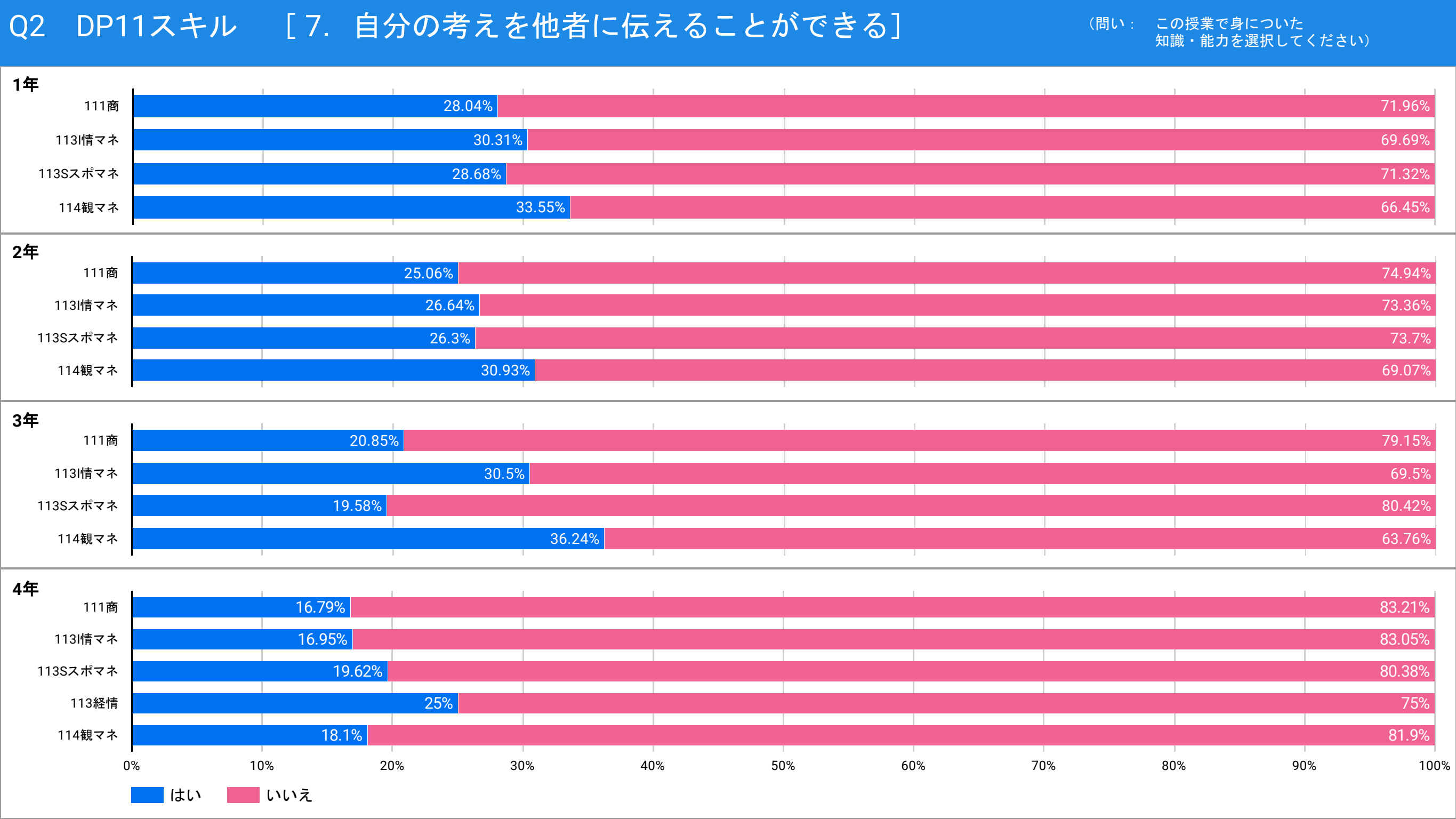


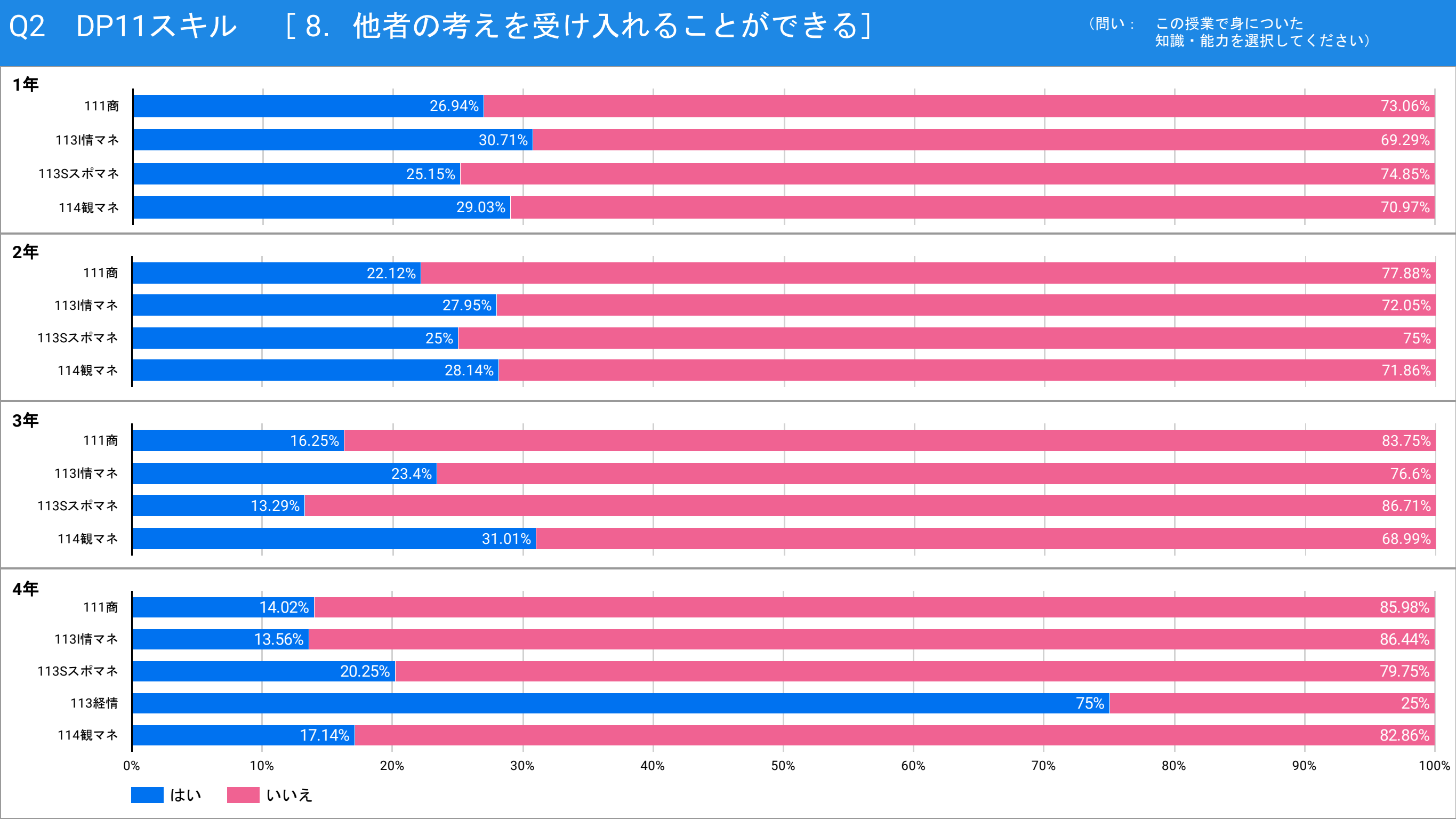


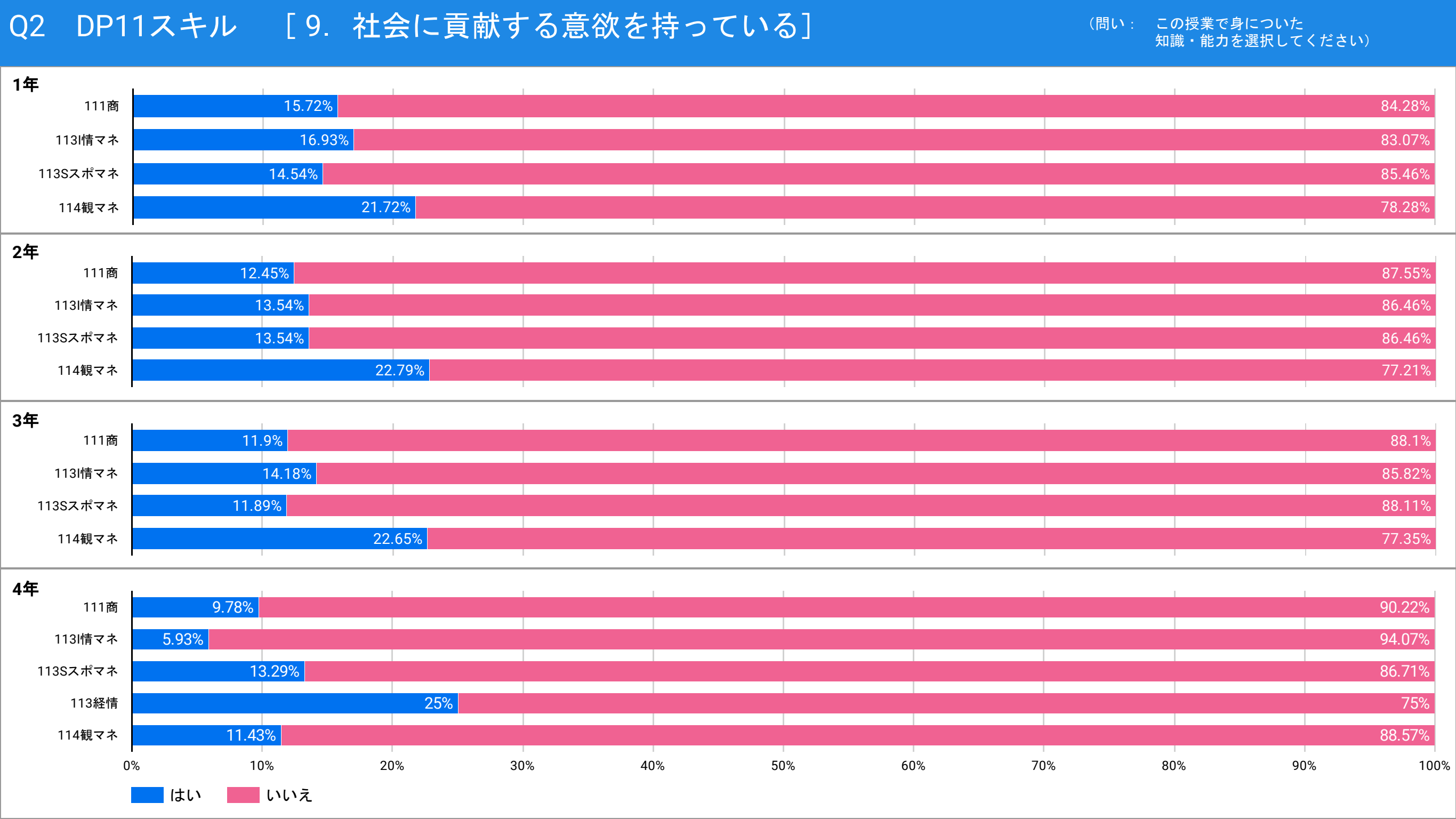


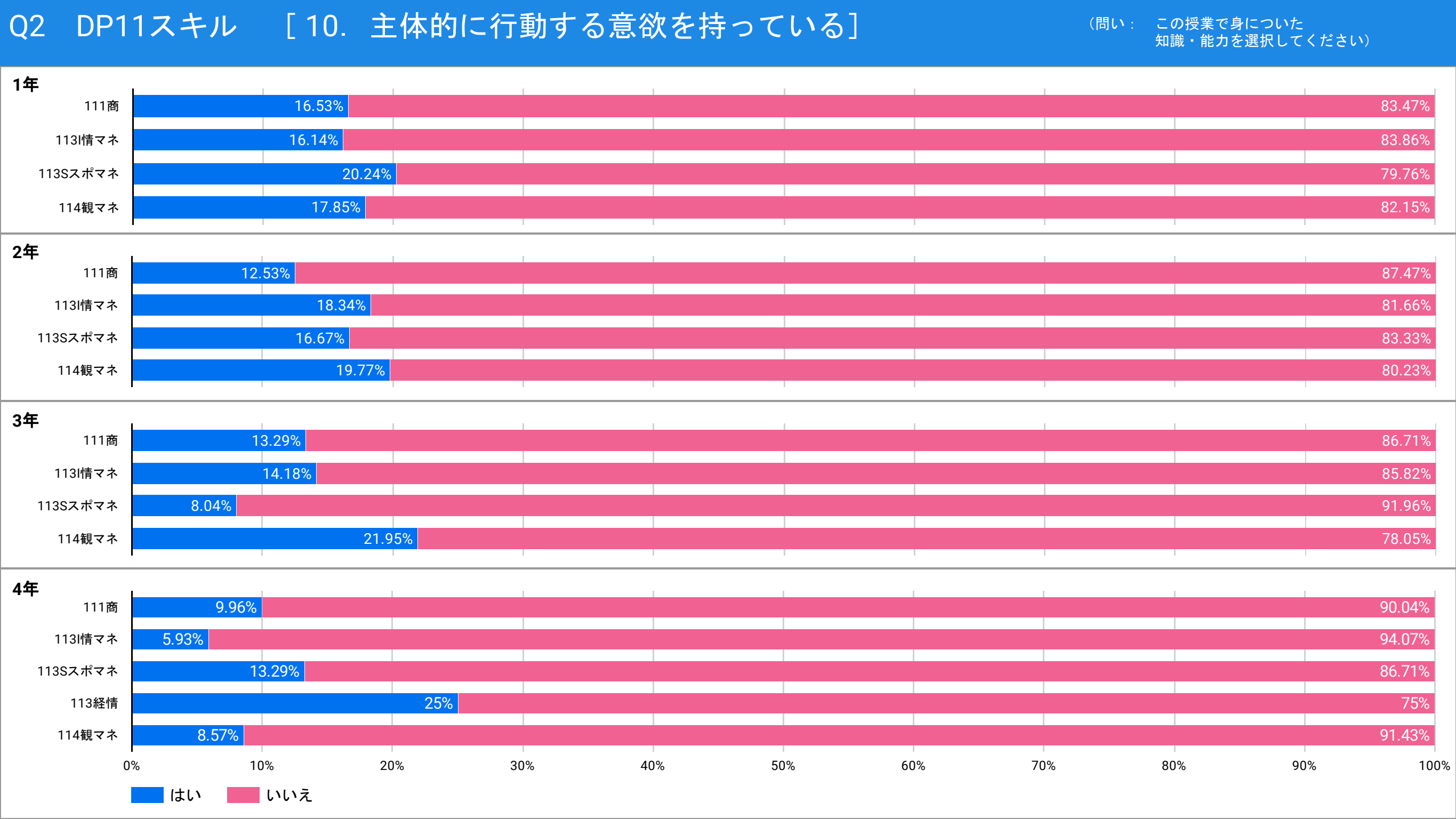


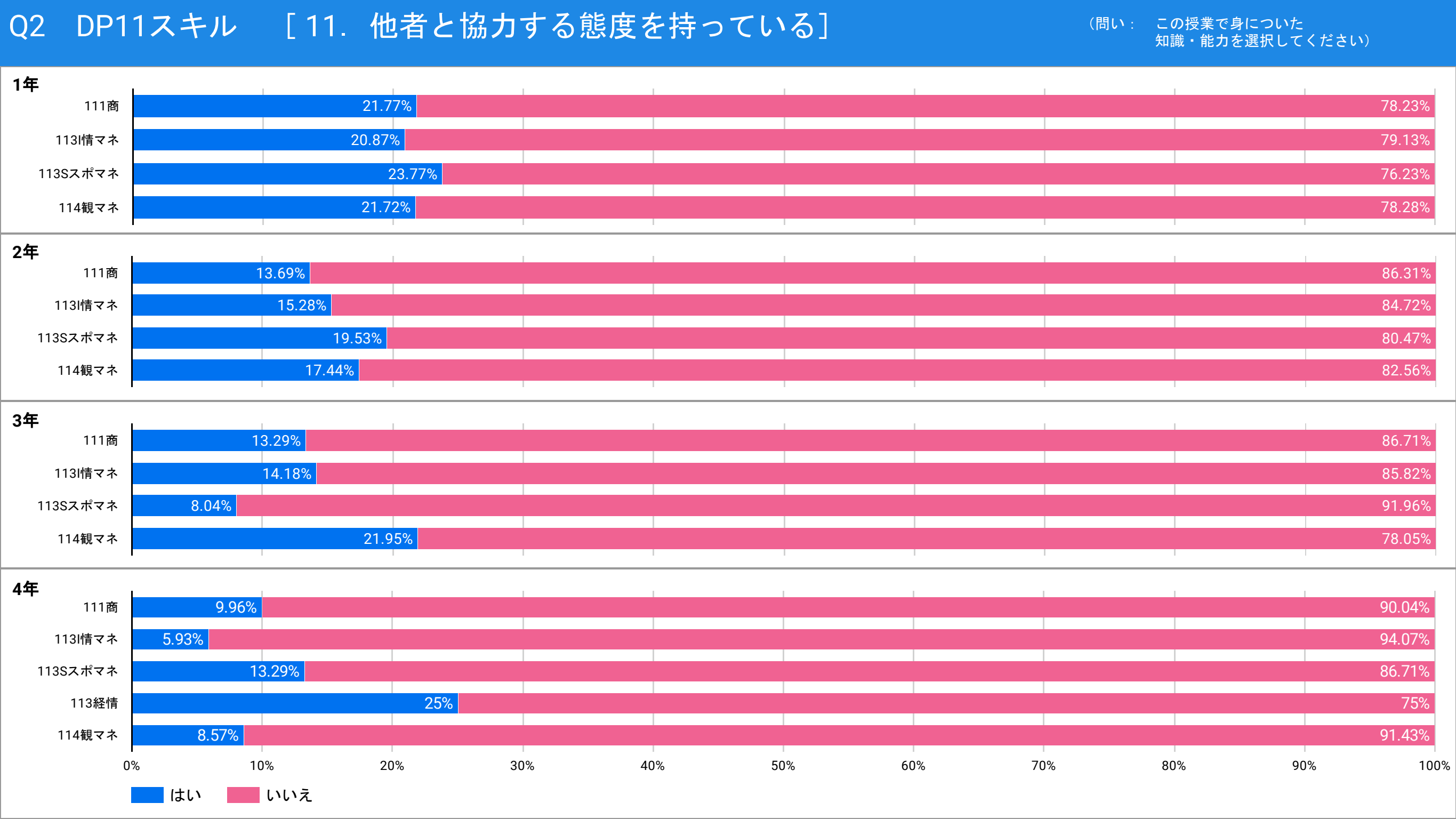


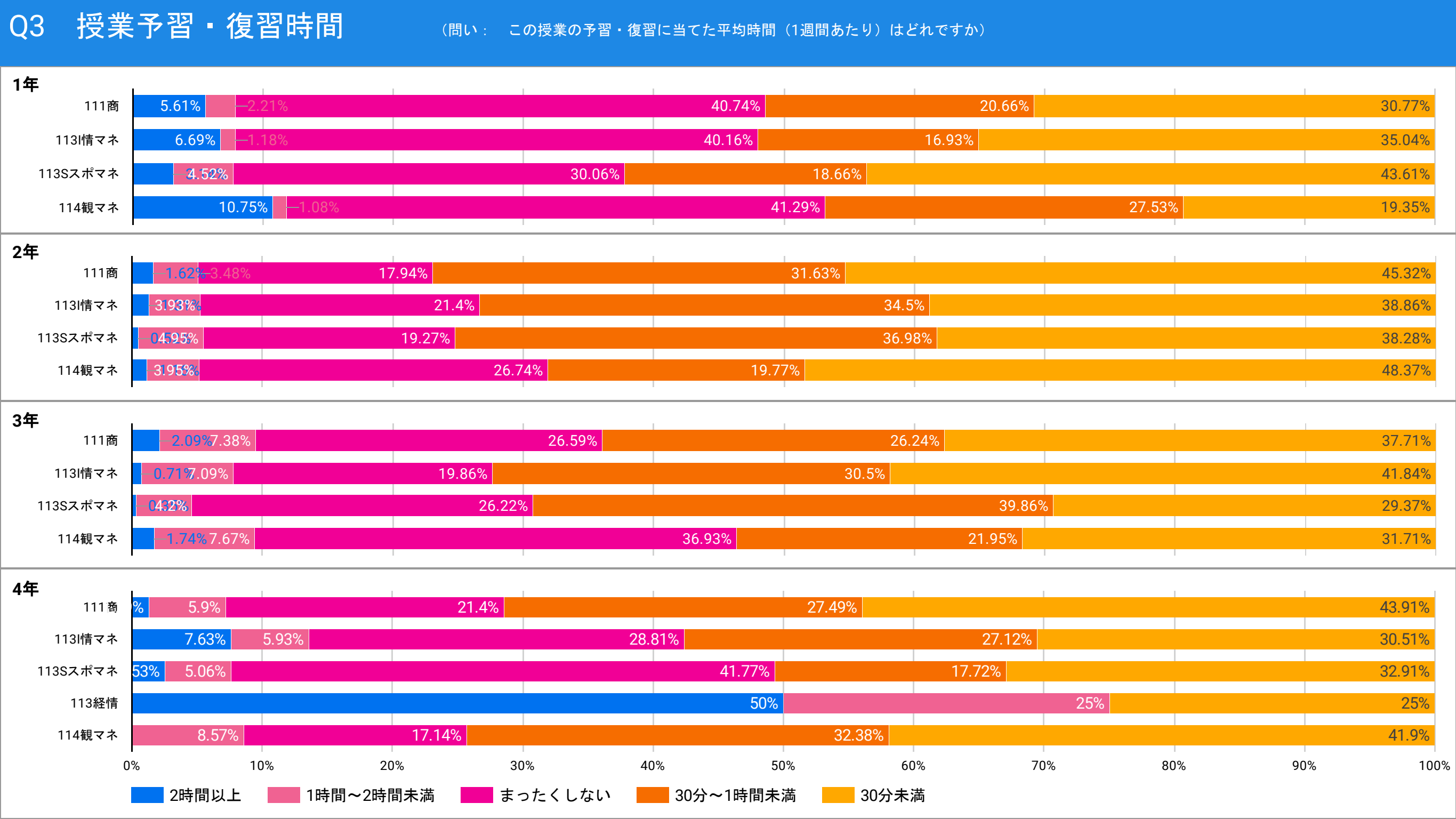


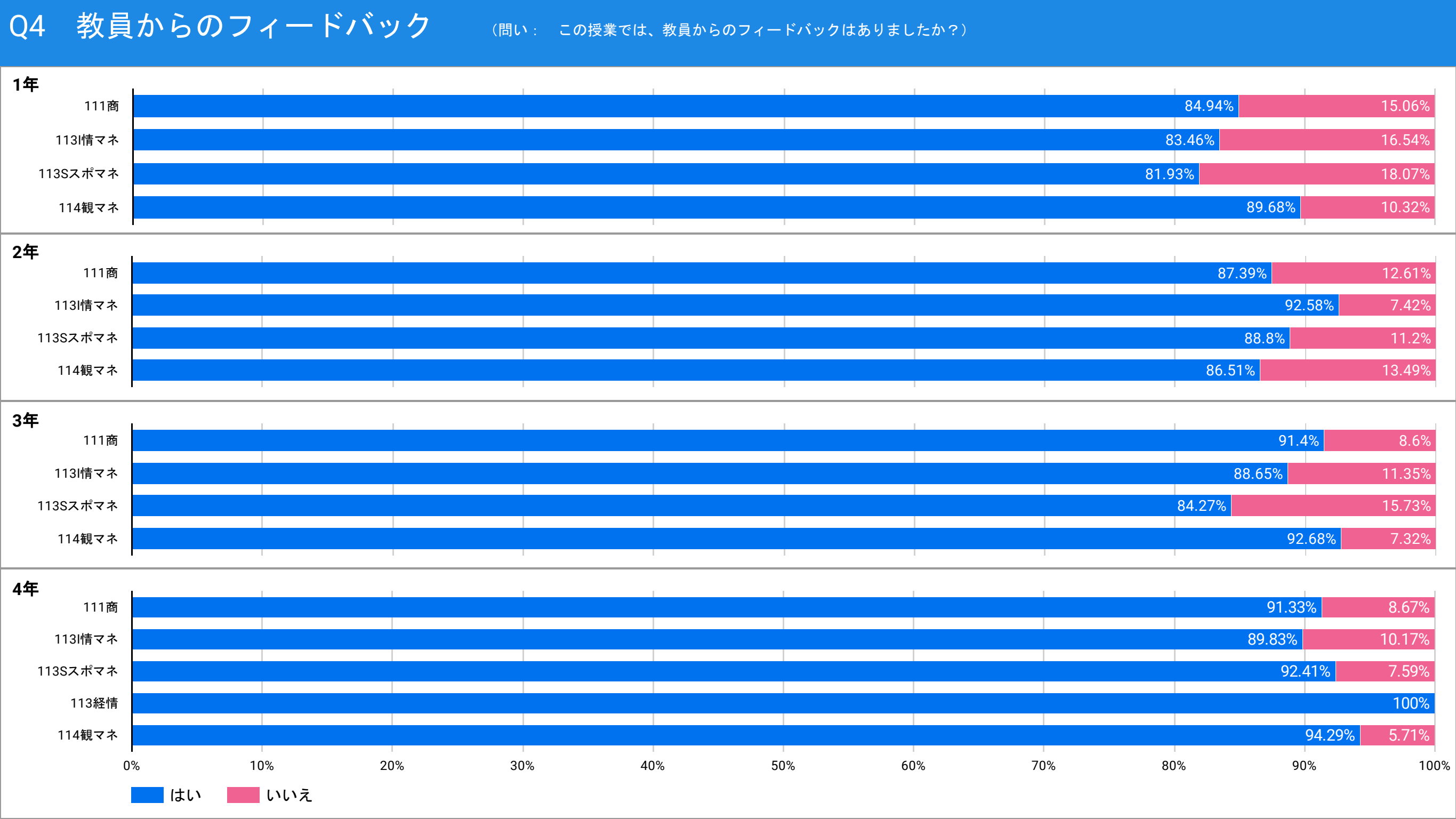


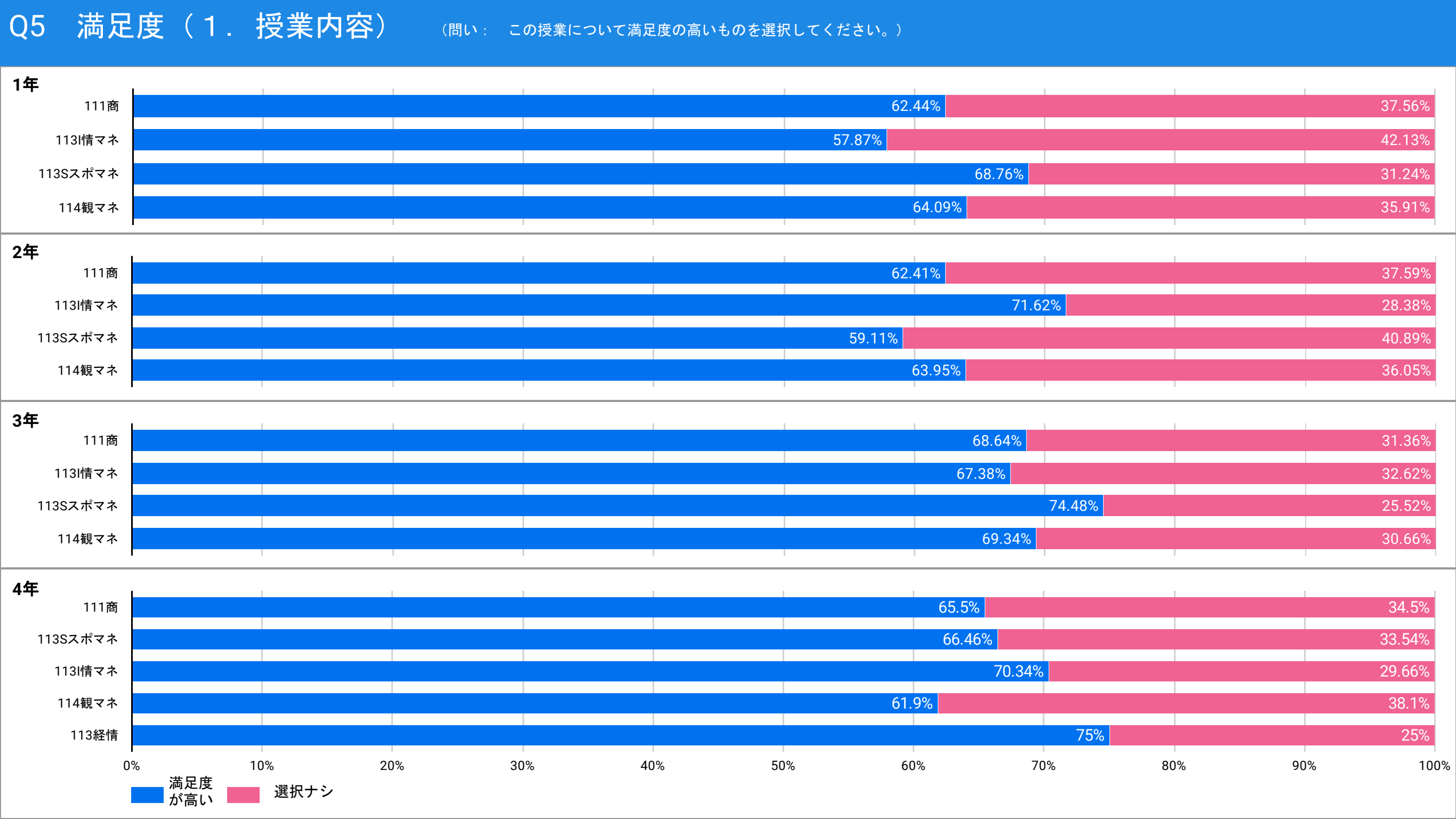


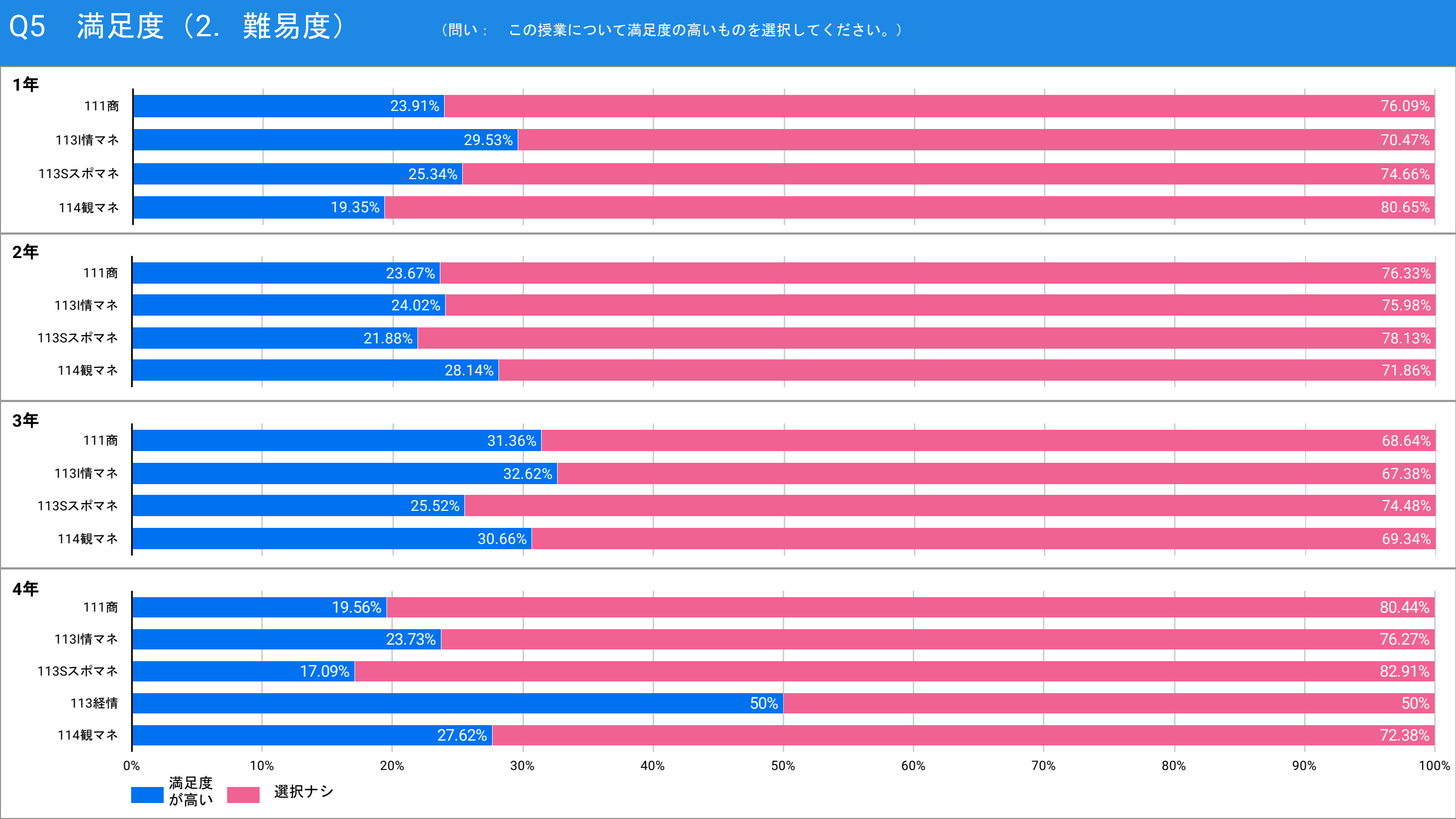


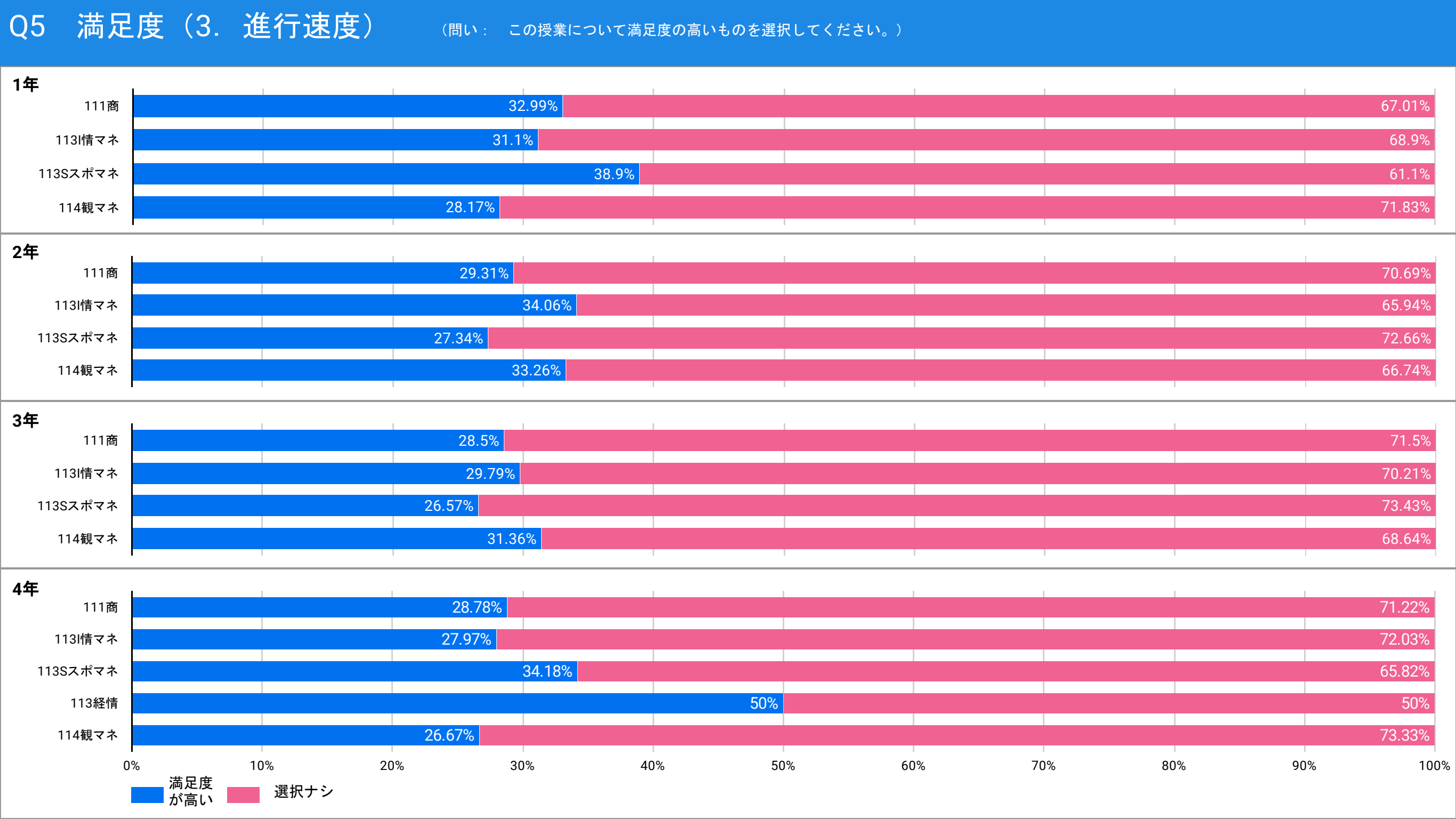








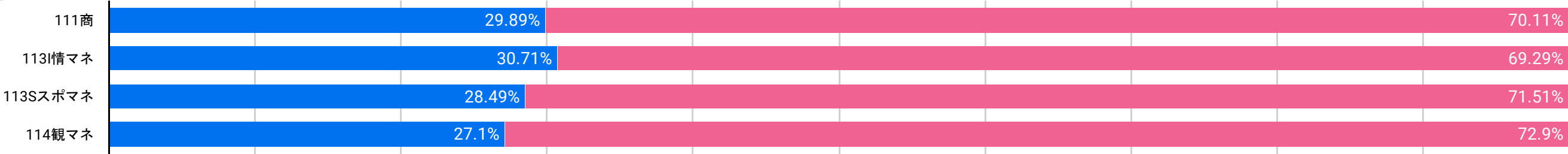




Q5 満足度（4. 話し方・説明の仕方）

（問い： この授業について満足度の高いものを選択してください。）

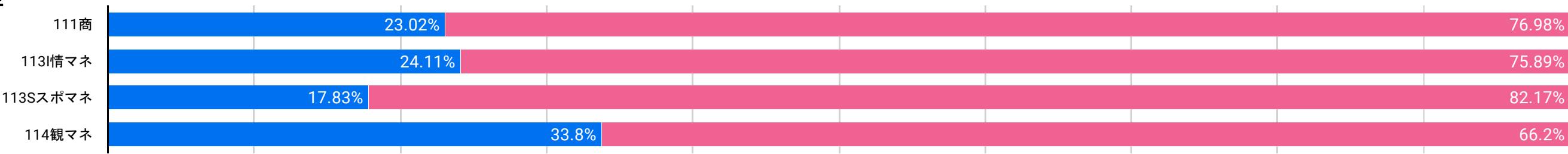
1年



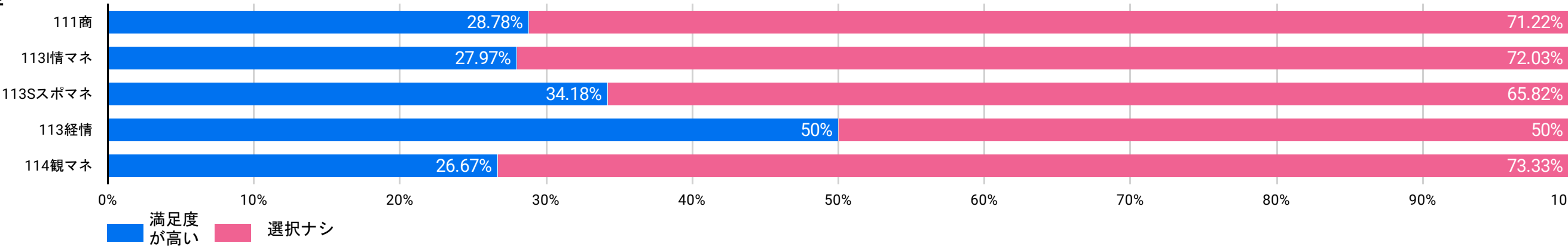
2年

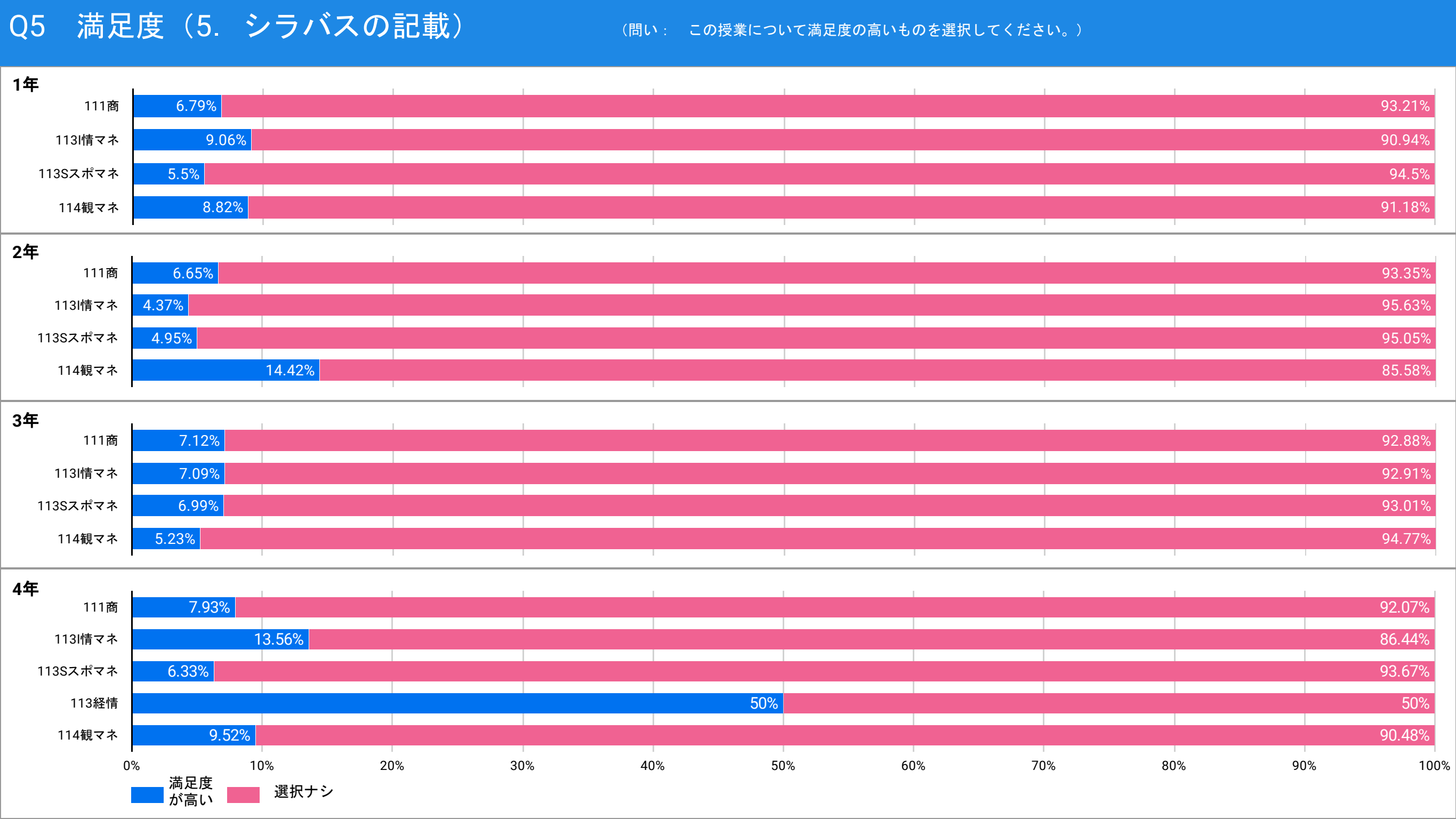


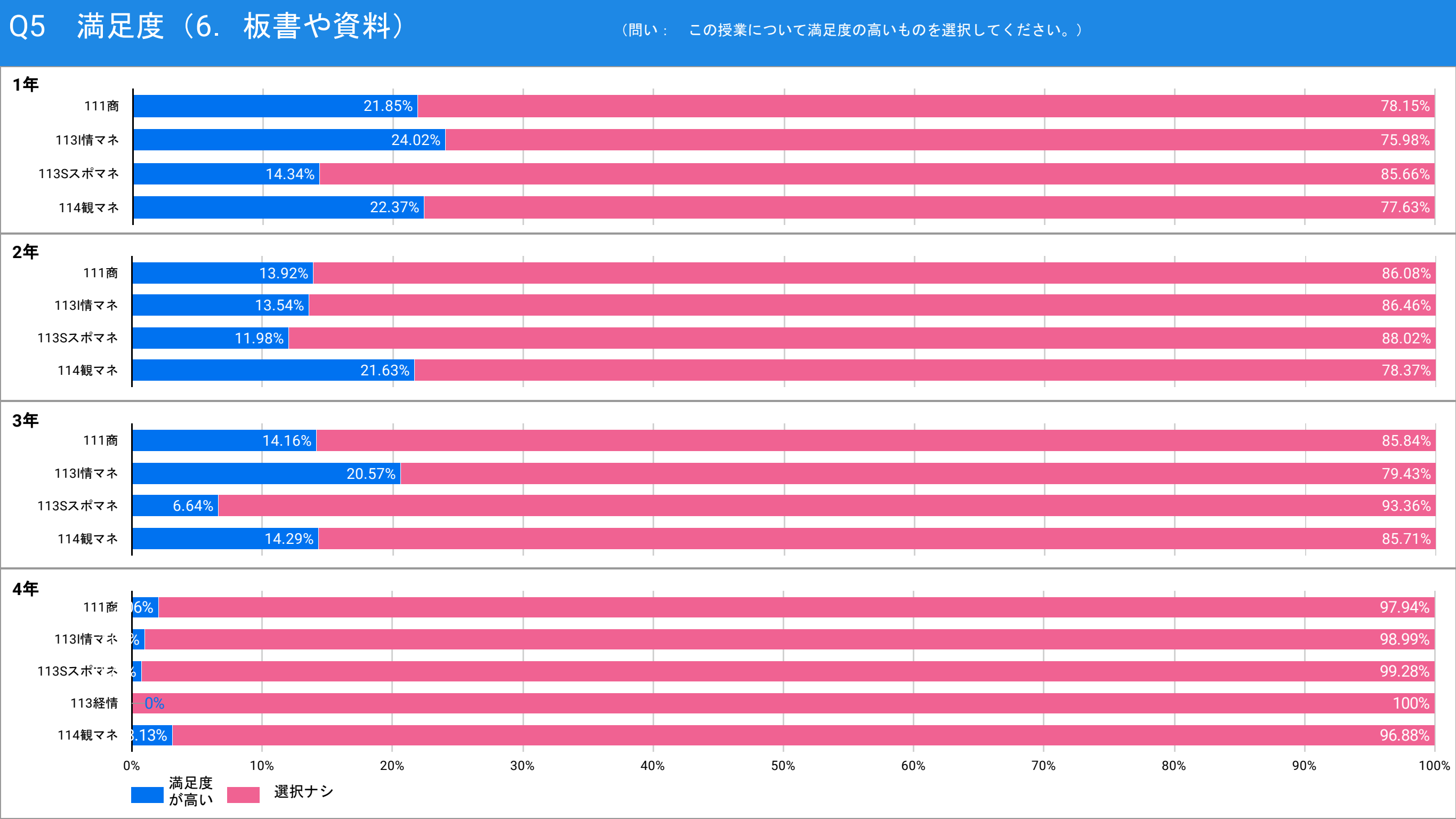
3年

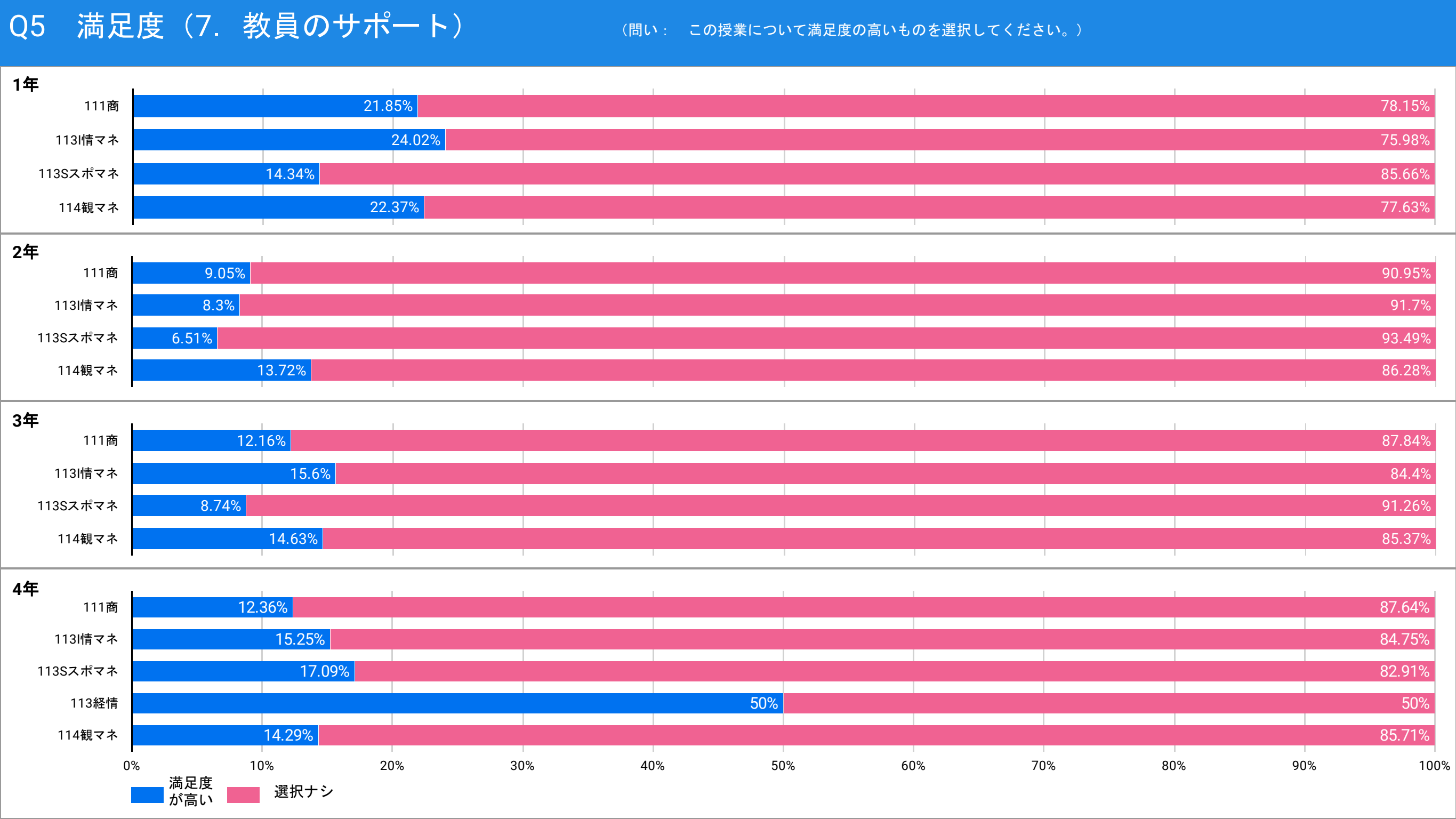


4年



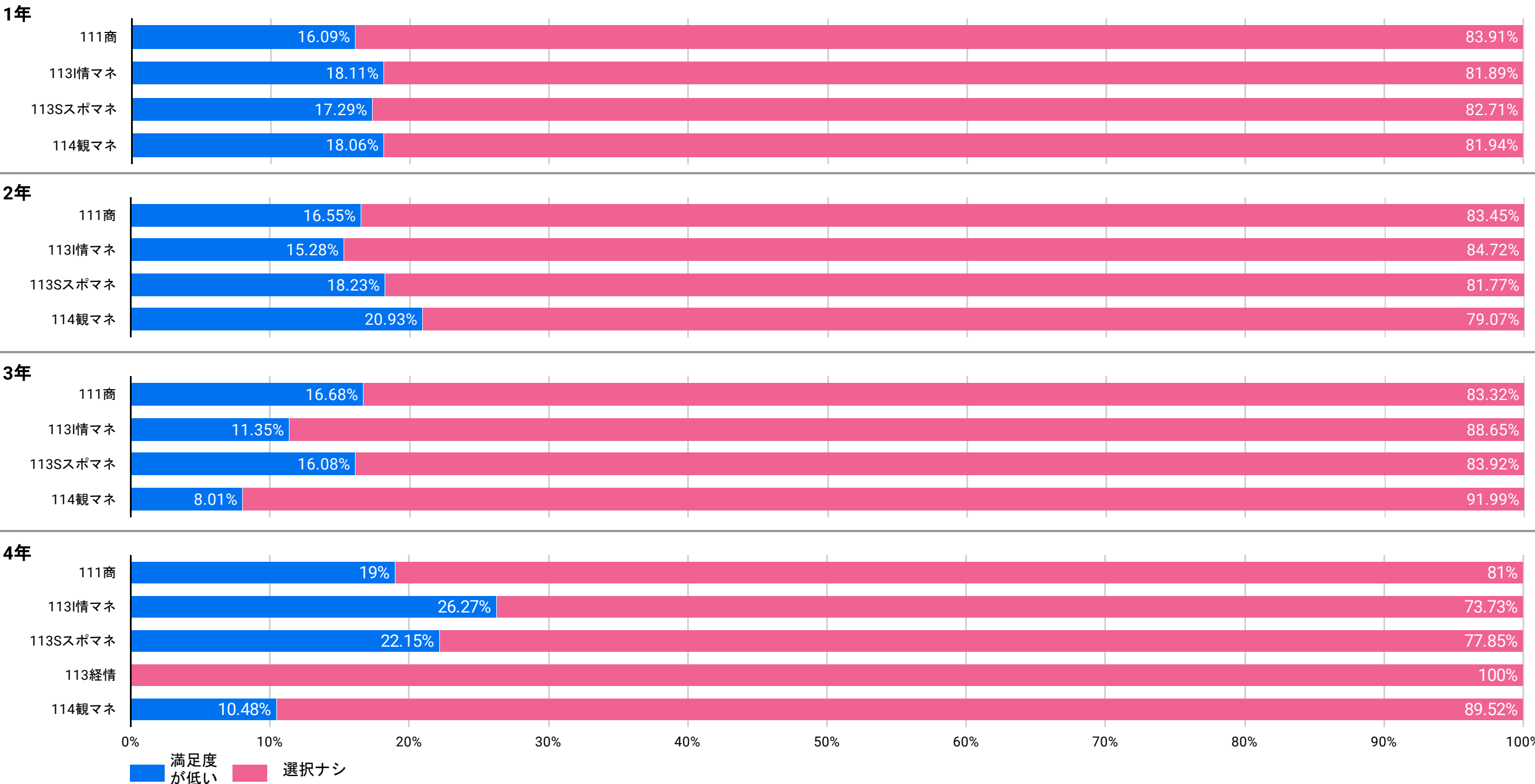






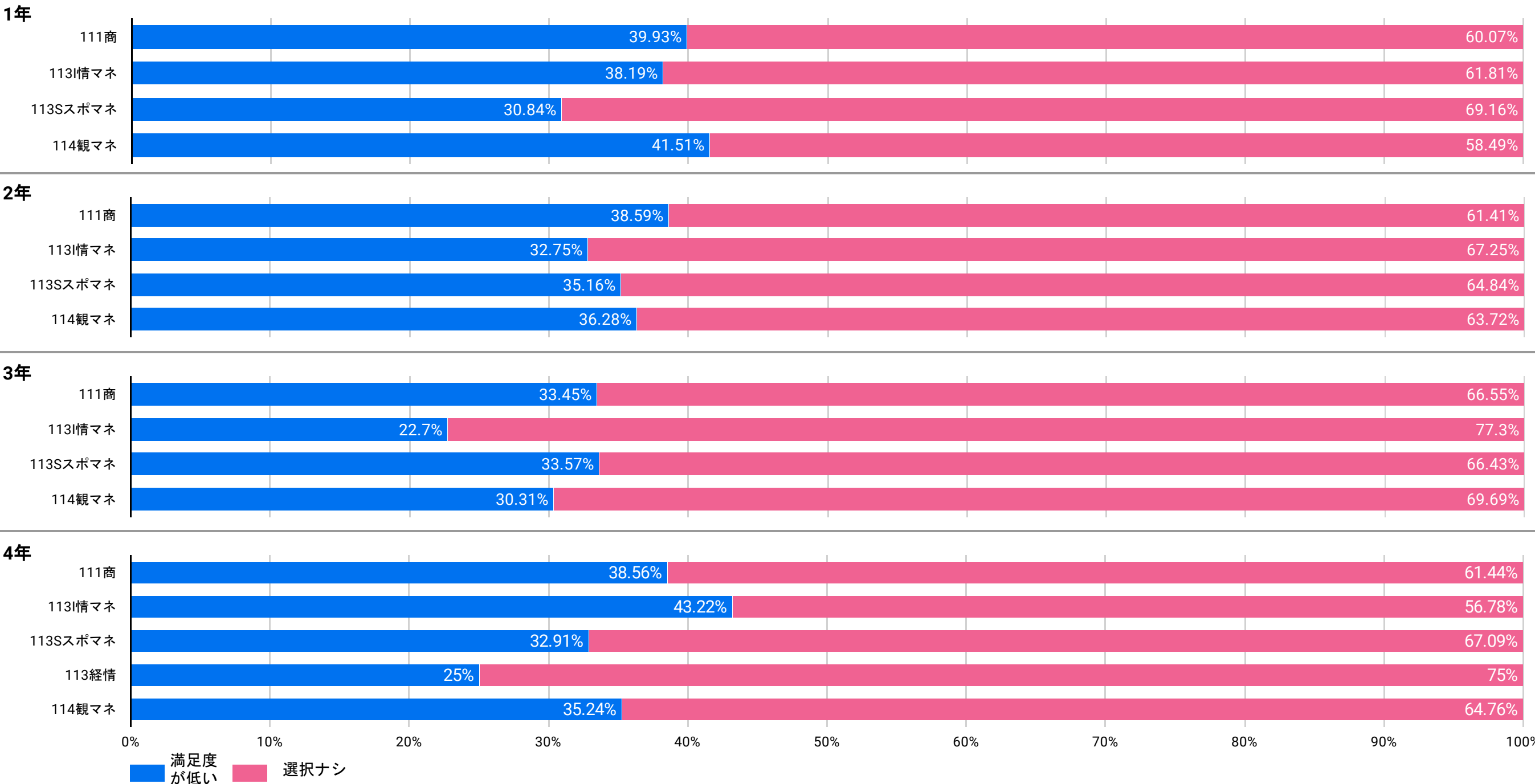
Q6 不満足度（1. 授業内容）

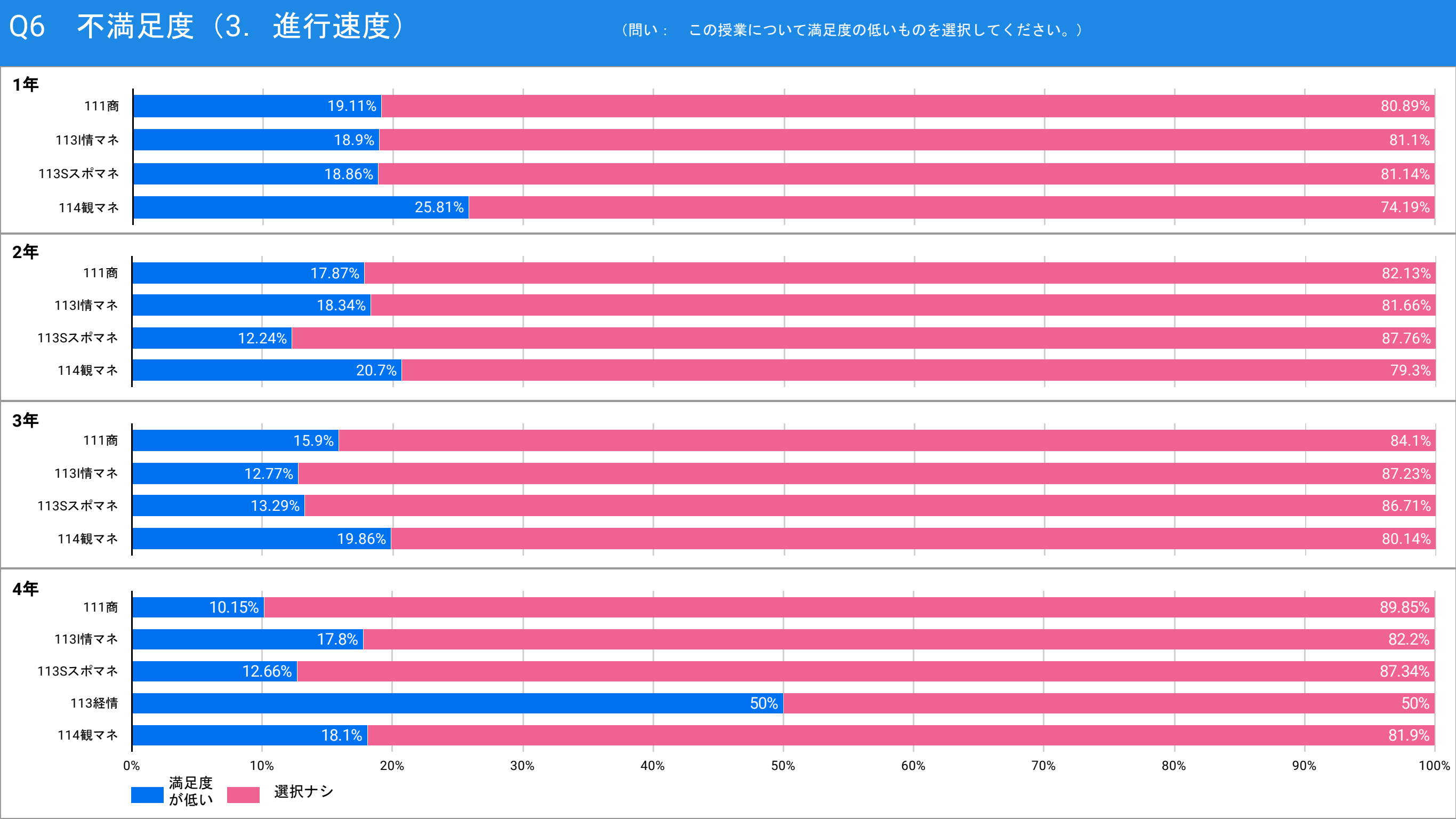
（問い： この授業について満足度の低いものを選択してください。）

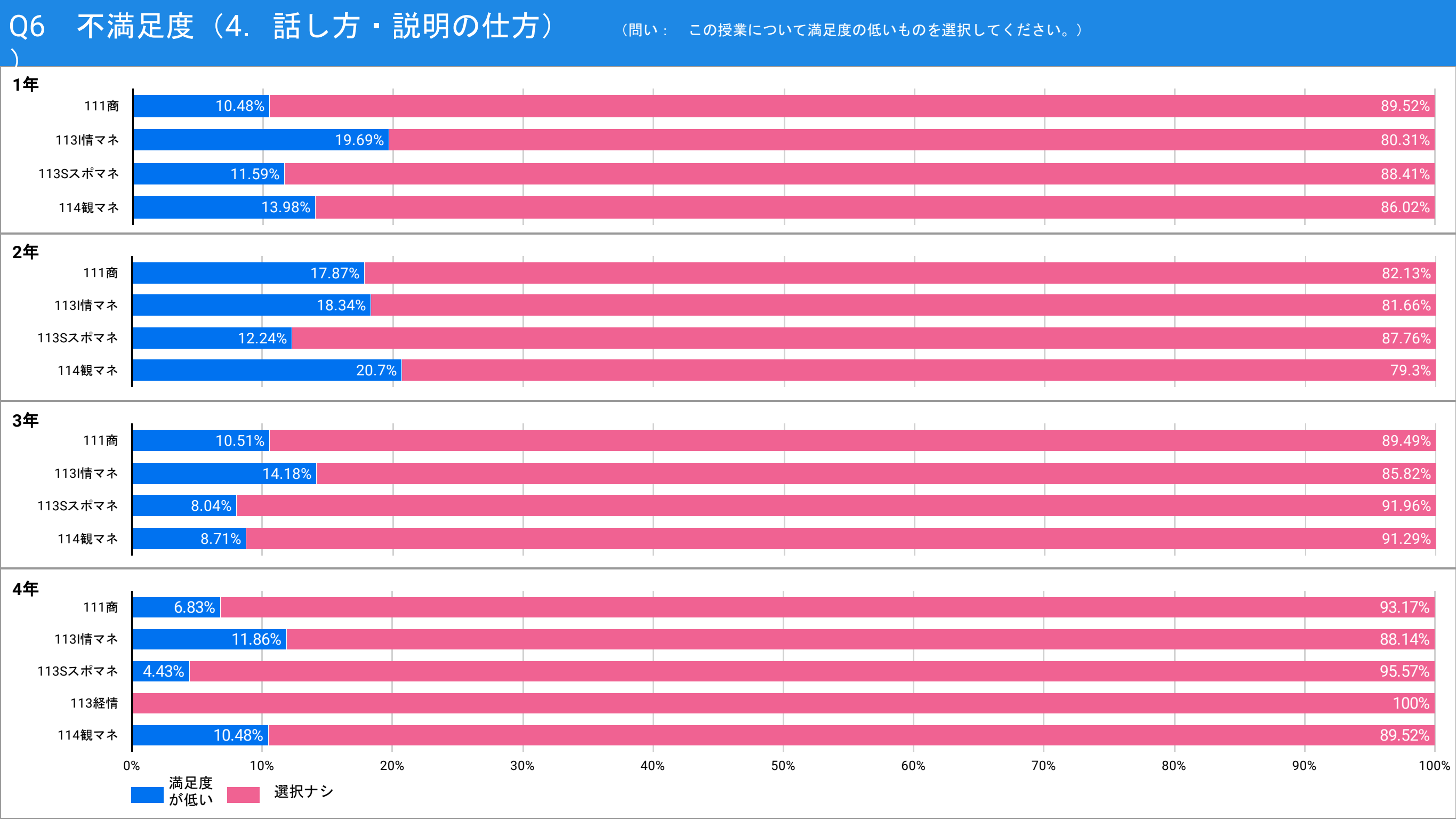


Q6 不満足度（2. 難易度）

(問い： この授業について満足度の低いものを選択してください。)



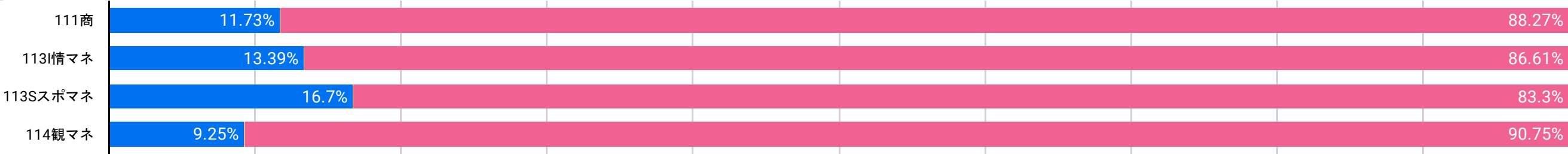




Q6 不満足度（5. シラバスの記載）

（問い： この授業について満足度の低いものを選択してください。）

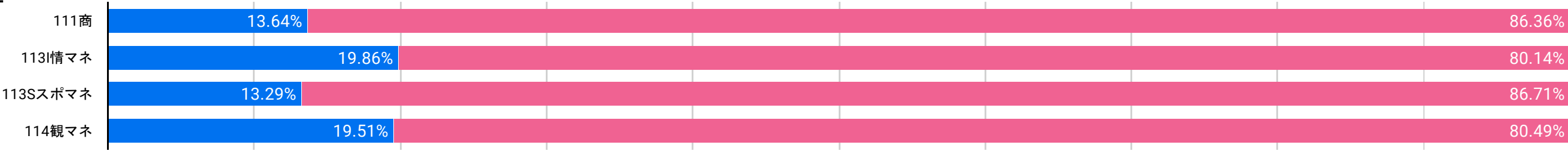
1年



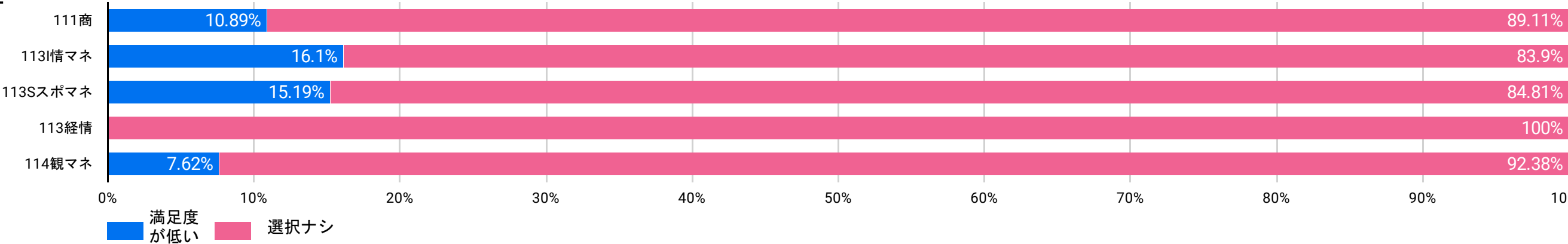
2年



3年



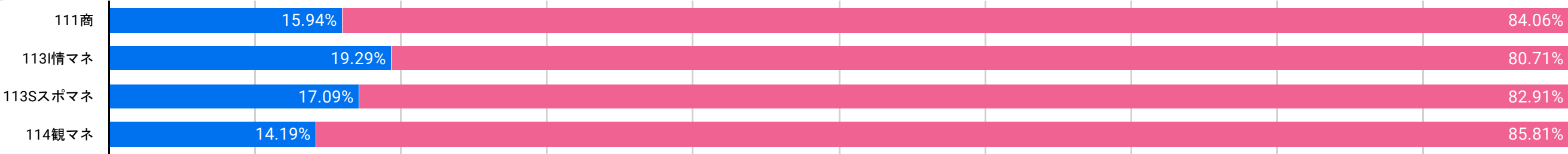
4年



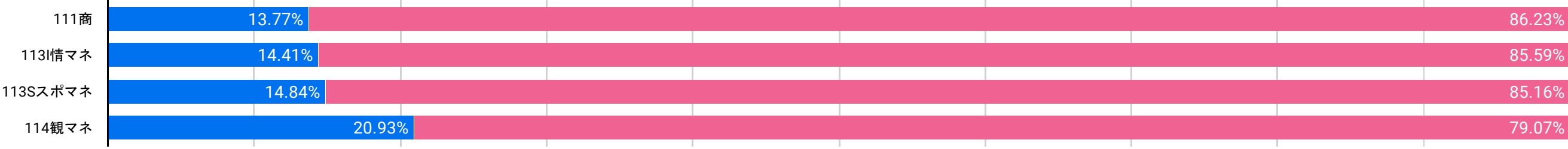
Q6 不満足度（6. 板書や資料）

（問い： この授業について満足度の低いものを選択してください。）

1年



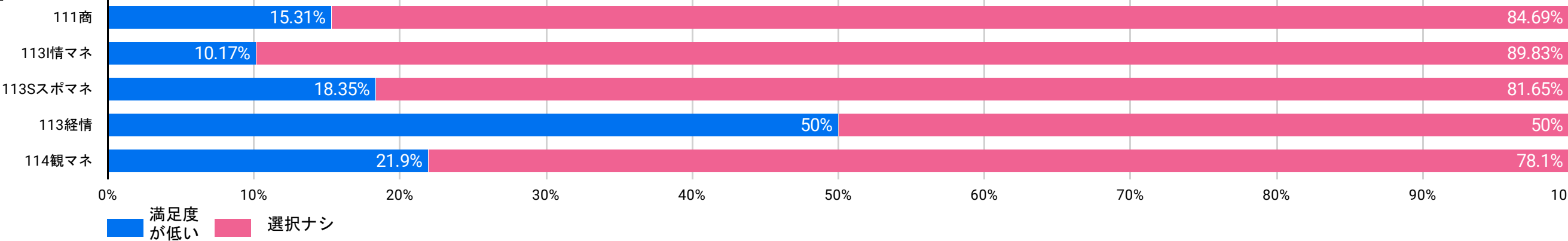
2年



3年



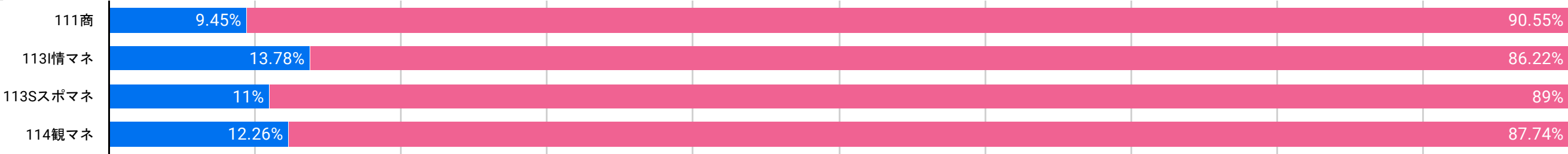
4年



Q6 不満足度（7. 教員のサポート）

（問い： この授業について満足度の低いものを選択してください。）

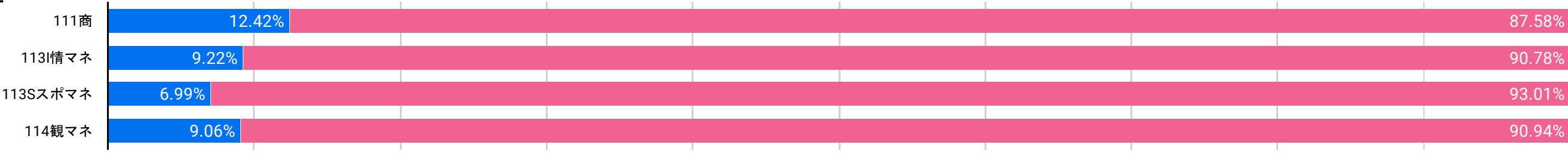
1年



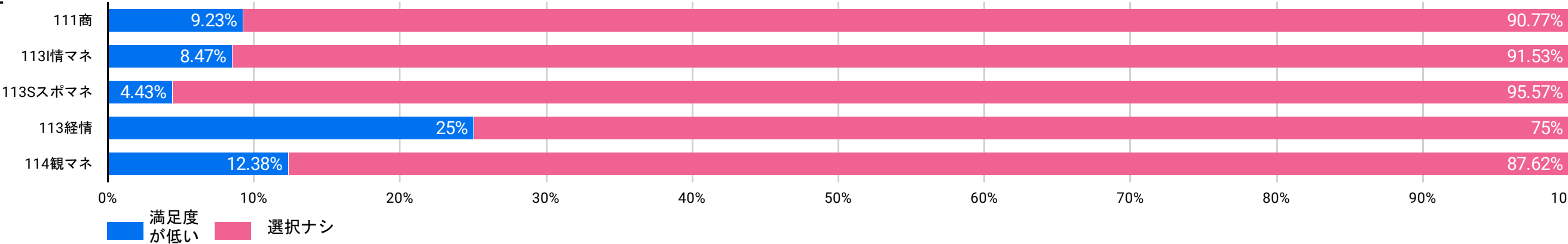
2年

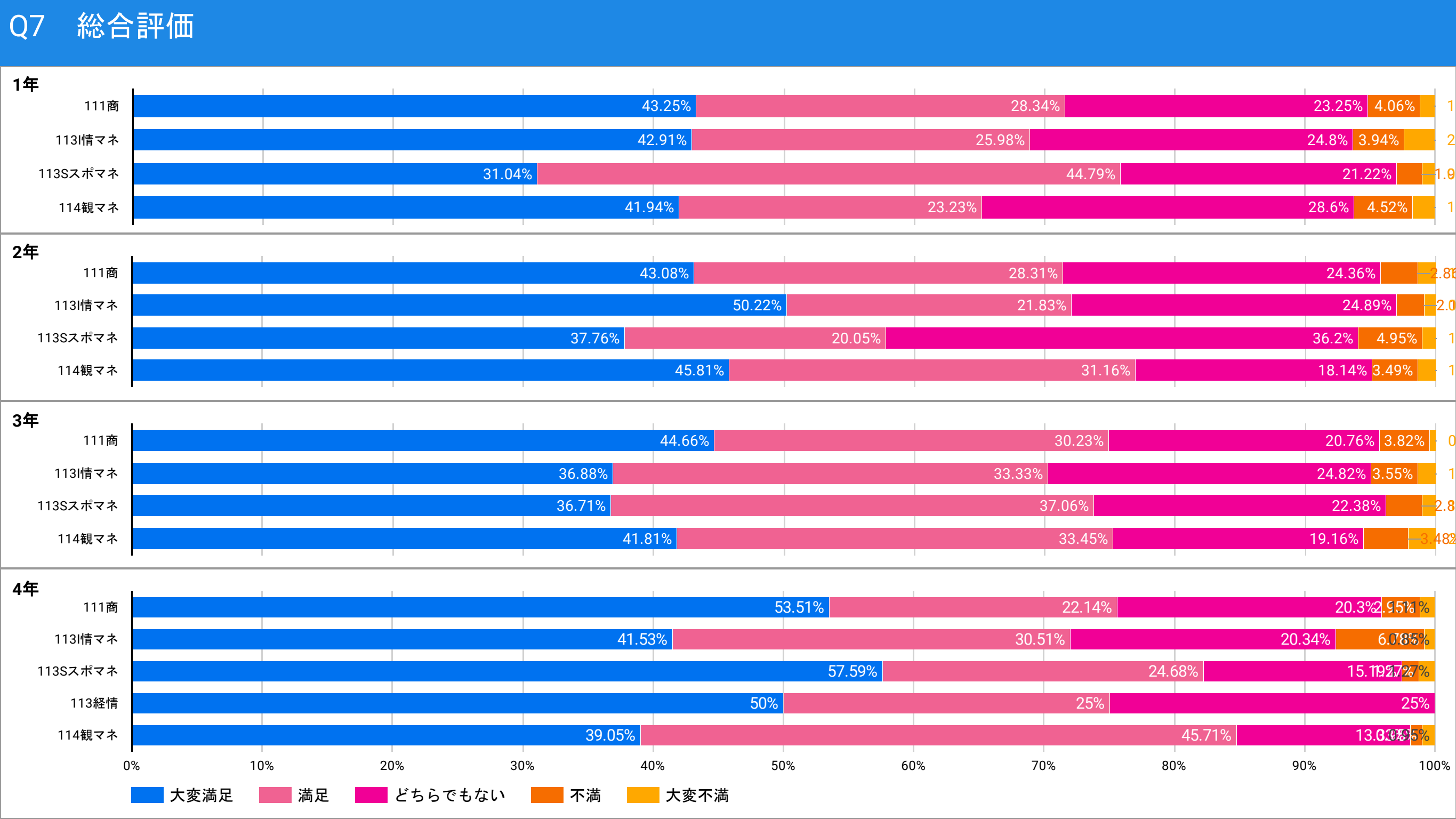


3年



4年





学生による授業評価 授業評価アンケート報告書 ー2024（令和6）年度 春学期調査ー

2024（令和6）年12月発行

編集 横浜商科大学管理本部IR・情報メディア部IR課

発行所 〒230-8577
神奈川県横浜市鶴見区東寺尾4-11-1
横浜商科大学IR委員会
横浜商科大学学務本部

電話 045-571-3901(代)
mail ir-office@shodai.ac.jp

無断で複写・転載することを禁じます。